令和４年度

獣医療提供体制整備推進総合対策事業

（臨床実習等支援事業実施報告書）

【農林水産省補助事業】

令和５年３月

家畜衛生対策推進協議会

はじめに

我が国の家畜、畜産物の安定的な生産と畜産物の安全性を確保するためには、産業動物分野等における獣医療の果たす役割は重要であり、それを担う獣医師の育成・確保が求められてきております。

このような中、農林水産省の補助事業である「臨床実習等支援事業」は、家畜衛生対策推進協議会が応募し、平成 21 年度から事業実施主体として実施しております。

本事業は、全国獣医系 17 大学、各県 NOSAI 団体、(一社) 日本養豚開業獣医師協会、地域獣医師会並びに各都道府県畜産関係機関等の協力を得ながら、獣医系学生を対象として、臨床経験豊かな獣医師による臨床実習研修、都道府県の家畜衛生等公務員分野における行政体験研修の実施及び産業動物分野における獣医療の重要性に関する講習会等を開催することにより、産業動物及び公務員分野への理解を深め、参入意欲を醸成するとともに、産業動物獣医師の育成・確保を図ることを目的として実施しております。

本事業に係る、平成 22 年度から令和３年度卒業までの臨床実習研修並びに行政体験研修への参加学生の就業状況を見てみますと、全体で５割強の学生が産業動物関係を希望し就職しており、当該分野への獣医師確保として本事業の果たす役割は重要であると考えております。

今年度につきましても、新型コロナウイルス感染拡大が危惧されましたが、本病の感染防止対策を講じ、各関係機関並びに団体等のご理解、ご協力のもと、臨床実習研修 71 名、行政体験研修 189 名、計 260 名の学生を受け入れていただき実施できましたこと、厚くお礼申し上げます。

つきましては、本書のとおり事業実施報告書を作成しましたので、ご参考までに送付いたします。

本事業が、今後ますます不足すると見込まれる産業動物及び公務員分野の獣医師の確保に資するとともに、これら獣医療提供体制の維持・構築を通じ、畜産振興の一助となれば幸いです。

令和５年３月

家畜衛生対策推進協議会

会長　矢ヶ崎　忠夫

目　次

✧　令和４年度臨床実習等支援事業の概要　……　1

✧　令和４年度産業動物臨床実習研修・行政体験研修
の実施について（募集要領）……　3

✧　令和４年度臨床実習等支援事業の実績　……　17

✧　臨床実習等支援事業（臨床実習・行政体験研修）
アンケート集計結果　……　23

✧　受講者の就業状況調査結果について　……　51

令和４年度　臨床実習等支援事業の概要について

１　事業の目的

産業動物診療及び公務員分野の獣医師数が中長期的な見通しにおいて不足が見込まれるため、獣医学を専攻する学生に対し、経験豊かな獣医師による臨床実習研修、行政体験研修及び産業動物診療の重要性に関する講習会等の開催により、獣医学を専攻する学生の産業動物診療及び公務員分野への参入意欲を醸成し、これらの分野における獣医師の育成・確保を図ることを目的に、以下の事業を実施する。

２　事業の内容

産業動物獣医師の育成・確保を推進するための検討会を開催するとともに、獣医学を専攻する学生を対象に、臨床実習研修、行政体験研修の実施、畜種別疾病講習会及び産業動物獣医療への理解醸成のための講習会等を開催する。

① 推進検討会等の開催

獣医系大学、臨床研修診療施設、都道府県等の学識経験者からなる育成・確保推進検討会及び育成・確保支援検討会を開催し、適正な事業計画、実施方策等を決定する。

② 臨床実習研修の実施

大学の夏期休暇等を利用し、産業動物診療に豊富な経験を有し、当該事業の取組みに意欲を有する大学及び大臣指定研修施設の指導教官、産業動物管理獣医師の連携のもとに、大学等の施設を利用して臨床実習研修（5 日間程度）を実施する。

③ 行政体験研修の実施

大学の夏期休暇等を利用し、大学及び都道府県の家畜衛生等行政機関との連携のもとに、都道府県の施設を利用して行政体験研修（5 日間程度）を実施する。

④ 臨床獣医師による畜種別疾病講習会開催

大臣指定研修施設の指導教官及び産業動物管理獣医師等により、診療現場で取組んでいる主要疾病、課題等について、開催大学と内容等を協議の上、実施する。

⑤ 産業動物獣医療への理解醸成のための講習会開催

大臣指定研修施設の指導教官、産業動物管理獣医師、行政担当者等の参画を得て、それぞれの立場から産業動物獣医療に対する意義等を討議し、学生の理解を醸成するための講習会を開催する。

【委員名簿】

○育成・確保　推進検討会委員

所属	職名	氏名
東京大学	名誉教授	中山裕之
麻布大学	獣医学部　教授	吉岡耕治
埼玉県畜産安全課	家畜衛生担当 主幹	益岡奈津樹
公益社団法人全国農業共済協会	農業共済役職員講習講師室　講師室長	吉武　朗
栃木県家畜人工授精師協会	会長	舘野浩一

○育成・確保　支援検討会委員

所属	職名	氏名
北海道大学大学院	獣医学研究院　助教	柳川洋二郎
帯広畜産大学	獣医学研究部門 教授	松井基純
岩手大学	農学部共同獣医学科　准教授	一條俊浩
東京大学	大学院農学生命科学研究科　教授	猪熊　壽
東京農工大学	農学部共同獣医学科　教授	竹原一明
岐阜大学	応用生物科学部共同獣医学科　教授	大場恵典
鳥取大学農学部	共同獣医学科　教授	太田利男
山口大学	共同獣医学部獣医学科　教授	佐々木直樹
宮崎大学	農学部獣医学科　教授	佐藤礼一郎
鹿児島大学	共同獣医学部獣医学科　准教授	安藤貴朗
鹿児島大学	共同獣医学部獣医学科　教授	帆保誠二
大阪公立大学	獣医学部獣医学科　教授	川手憲俊
酪農学園大学	獣医学群獣医学類　助教	杉浦智親
北里大学	獣医学部獣医学科　教授（令和3年退職）	菊池元宏
日本獣医生命科学大学	獣医学部長	田中良和
日本大学	生物資源科学部獣医学科　教授	堀北哲也
麻布大学	獣医学部獣医学科　准教授	野口倫子
岡山理科大学	獣医学部獣医学科　教授	芝野健一
一般社団法人 日本養豚開業獣医師協会	代表理事	呉　克昌
鹿児島県農業共済組合	家畜部部長	西元俊朗

令和４年度

産業動物臨床実習研修・行政体験研修の実施について

―　募集要領　―

本事業では、獣医学を専攻する学生に対し、経験豊かな獣医師による臨床実習研修、行政体験研修等の開催により、獣医学を専攻する学生の産業動物診療及び公務員分野への参入意欲を醸成し、これらの分野における獣医師の育成・確保を図ることを目的とする。

1　受講手続き

研修の受講手続きは Web 上での手続きとし、以下に従い期日までに申込等を行ってください。なお、本研修に係る事務の一部は、家畜衛生対策推進協議会（以下、「当協議会」という。）が委託する JTB を通じて行うこととしております。

（1）研修の申込み

受講を希望する方は、公益社団法人中央畜産会ホームページ（https://jlia.lin.gr.jp）にアクセスして、「令和４年度　産業動物臨床実習・行政体験研修　受講申込」から申込みを行ってください。申込みに当たっては、受講決定後本人都合による辞退等の無いよう、時期等をよく検討の上、申込みを行ってください。

なお、新型コロナまん延拡大、家畜伝染病の発生等により、研修機関によっては開催できなくなる場合がありますので、予めご了承ください。

また、防疫上の観点から、海外旅行は行わないよう、特にご注意願います。

（2）受講者の決定

・今年度の募集人数は 280 名以内です。
・受講希望者が募集人数を超えた場合には、調整させていただきます。
・当協議会は、受講希望を取りまとめ精査及び必要な調整等を行った上で受講者を決定し、受講希望者、受講者所属大学、並びに研修実施都道府県及び実施大学に通知します。

（3）受講者に助成する経費

ア　交通費

在籍大学から研修場所までの往復の交通費を助成することとし、鉄道切符、航空券等のチケットを発券します。なお、助成する交通費は、Web 上から申請する場合に限ることとします。また、助成する経路以外の経路によるもの、研修前後に係る私用の移動、研修期間中の交通費については助成の対象外です。

イ　宿泊料

研修中に宿泊を必要とする場合、研修初日から研修最終日の前日までの宿泊費を助成することとし、宿泊券を発券します。　助成する宿泊料は、Web 上から申請する場合に限ることとし、上限は１泊 2,500 円、４泊までとします。上限額を上回る場合は、

上回る額を研修受講者が定められた方法で納入して下さい（Web 上で交通費及び宿泊料の助成申請した後、自己都合により研修を辞退される場合は、キャンセル料が発生します）。

なお、研修への参加費は必要ありません。また、研修期間中の傷害及び損害保険は、本協議会で対応します。食事代は、自己負担となります。

2　研修の開催予定場所・時期

（1）臨床実習研修

A　酪農学園大学：　令和4年8月22日（月）～8月26日（金）5日間　（牛）
北海道江別市文京台緑町582　電話011-386-1111

B　岩手大学　：　令和4年8月22日（月）～8月26日（金）5日間　（牛）
岩手県盛岡市上田3-18-8　電話019-621-6224

C　麻布大学　：　令和5年2月13日（月）～2月17日（金）5日間　（豚）
相模原市中央区淵野辺1-17-71　電話042-754-7111

D　山口大学　：　令和4年8月22日（月）～8月26日（金）5日間　（馬）
山口市吉田1677-1　電話083-933-5873

E　宮崎大学　：　令和4年8月29日（月）～9月2日（金）5日間　（牛）
宮崎市学園木花台西1-1　電話0985-58-7280

F　鹿児島大学　：　令和4年8月29日（月）～9月2日（金）5日間　（牛）
鹿児島市郡元1-21-24　電話099-285-8737

G　鹿児島大学　：　令和4年8月22日（月）～8月26日（金）5日間　（馬）
鹿児島市郡元1-21-24　電話099-285-3538

H　日本養豚開業獣医師協会（豚）：　令和4年8月～9月頃（期間中の5日間）
（時期及び研修場所については、受入側と相談して決まります。）
事務局：　茨城県つくば市西大井1704-3　電話090-2045-1960

I　日高獣医師会（馬）：　令和4年8月1日(月)～8月5日(金)
事務局：　北海道日高郡新ひだか町静内田原517　電話0146-46-7200
軽種馬生産技術総合研修センター内

J　農業共済組合：　令和4年8月～9月頃（期間中の5日間）
（時期及び研修場所については、受入側と相談して決まります。）
（ア）千葉県農業共済組合　千葉県千葉市中央区新千葉3-2-6　電話043-245-7454
（イ）滋賀県農業共済組合　滋賀県大津市梅林1-14-17　電話077-524-6038
（ウ）兵庫県農業共済組合　神戸市中央区下山手通4-15-3　電話078-332-7161
（エ）愛媛県農業共済組合　愛媛県松山市二番町4-4-2　電話089-941-8135
（オ）鹿児島県農業共済組合　鹿児島県鹿児島市鴨池新町12-4　電話099-255-6161

（2）行政体験研修

K　次の各都道府県の家畜保健衛生所等において、5 日間程度の研修を実施します。
注）：〇囲み数字は、各都道府県の受講可能時期です。
各都道府県家保別の詳細日程は、別途 WEB 上から申込時に確認願います。

【北海道・東北地方】

北海道	②、③、⑥				
青森県		岩手県	①、③、④	宮城県	③～⑤
秋田県	③～⑥	山形県	①、④、⑤	福島県	①、④～⑥

【関東・甲信越地方】

茨城県	①～⑦	栃木県	①、③～⑥	群馬県	①～⑦
埼玉県	④、⑥	千葉県	⑤	東京都	③、⑤
神奈川県	①、⑤、⑥	新潟県	①、③～⑦	山梨県	①～⑦
長野県	①、③～⑦				

【東海・北陸地方】

富山県	⑤～⑦	石川県	④	福井県	④～⑥
岐阜県	①～⑦	静岡県	⑤	愛知県	④、⑥
三重県	③				

【近畿地方】

滋賀県	④、⑤	京都府	②、③、⑤	大阪府	
兵庫県	①～⑦	奈良県	⑥	和歌山県	①、④～⑦

【中国・四国地方】

鳥取県	②　、③～⑥	島根県	②	岡山県	④～⑦
広島県	②	山口県	①～⑦	徳島県	①～⑦
香川県	①～⑤	愛媛県	①～⑦	高知県	

【九州・沖縄地方】

福岡県	⑤～⑦	佐賀県	③～⑦	長崎県	①、③～⑦
熊本県	③、⑤	大分県	②、③、⑤、⑥	宮崎県	①～⑦
鹿児島県	⑦	沖縄県	②～⑦		

＜　受講可能時期　＞

①	令和４年８月　１日(月) ～ ８月５日（金）	５日間
②	令和４年８月15日(月) ～ ８月19日（金）	５日間
③	令和４年８月22日(月) ～ ８月26日（金）	５日間
④	令和４年８月29日(月) ～ ９月２日（金）	５日間
⑤	令和４年９月５日(月) ～ ９月９日（金）	５日間
⑥	令和４年９月12日(月) ～ ９月16日（金）	５日間
⑦	令和４年９月26日(月) ～ ９月30日（金）	５日間

３　応募資格、募集人数

（１）応募資格　：　獣医学部（学科）在籍者

（２）募集人数　：

【臨床実習研修】

Ａ 酪農学園大学（牛）	：	10名（4～5年生）
Ｂ 岩手大学（牛）	：	10名（3～5年生）
Ｃ 麻布大学（豚）	：	10名（4～5年生）
Ｄ 山口大学（馬）	：	10名（4～5年生）
Ｅ 宮崎大学（牛）	：	10名（3～5年生）
Ｆ 鹿児島大学（牛）	：	10名（4～5年生）
Ｇ 鹿児島大学（馬）	：	10名（2～5年生）
Ｈ 日本養豚開業獣医師協会（豚）	：	10名（2～5年生）
Ｉ 日高獣医師会（馬）	：	２名（2～5年生）
Ｊ 農業共済組合		
（ア）千葉県農業共済組合	：	２名程度（2～5年生）
（イ）滋賀県農業共済組合	：	３名程度（2～5年生）
（ウ）兵庫県農業共済組合	：	19名程度（2～5年生）
（エ）愛媛県農業共済組合	：	２名程度（2～5年生）
（オ）鹿児島県農業共済組合	：	16名程度（2～5年生）

【行政体験研修】

Ｋ　行政体験研修（都道府県）	：	150名程度（1～5年生）

4　カリキュラムの概要

（1）臨床実習研修（大学実施カリキュラム ： 別添1）

A　酪農学園大学（対象家畜：牛）

動物病院において、症例を用いて臨床診断・治療法を、また、農場において診療・疾病予防の実際を学ぶ。

B　岩手大学（対象家畜：牛）

牛の診療の基本、牛のハンドリングやロープワーク等を含めた治療の基本手技及び繁殖関連疾病の診断と治療の実際や病理解剖について学ぶ。

C　麻布大学　（対象家畜：豚）

学内実習場において、衛生管理技術等の習得とともに内科学的診断・治療法、繁殖障害の診断・治療法等を学ぶ。

D　山口大学　（対象家畜：馬）

馬の救急医療に必要な知識および技術を山口大学の Hands-on プログラムと Case discussion を通して学ぶ。

E　宮崎大学　（対象家畜：牛）

産業動物診療施設を生かした実習（大動物用X線、腹腔鏡検査等）を中心として、内科診断学、外科的疾患の診断・治療、繁殖障害の診断・治療、感染症および防疫について学ぶ。

F　鹿児島大学　（対象家畜：牛）

牛の臨床現場で必要とされる基礎的な臨床検査及び診療技術について学ぶ。

G　鹿児島大学　（対象家畜：馬）

馬の臨床現場で必要とされる基礎的な臨床検査及び診療技術について学ぶ。

H　日本養豚開業獣医師協会　（対象家畜：豚）

現役で活躍している養豚専門獣医師の診療活動に同行して、疾病の診断・治療法を学ぶとともに、農場全体としての飼養衛生管理指導等を学ぶ。

I　日高獣医師会　（対象家畜：馬）

北海道日高管内において、馬の診療活動等に同行し、疾病の診断・治療法並びに飼養衛生管理指導等を学ぶ。

J　農業共済組合　（対象家畜：乳牛、肉牛）

農業共済組合等の診療施設で、獣医師職員に同行して、疾病の診断・治療法、飼養衛生管理指導等を学ぶ。

（2）行政体験研修（カリキュラムの事例：別添2）

K　都道府県の家畜保健衛生所を中心として、畜産農家に対する防疫・衛生指導、室内検査等行政機関勤務獣医師の業務を学ぶ（44都道府県）。

５　受講者受付期限

令和４年　６月１５日（水）～　令和４年　７月　５日（火）

６　問合わせ先

家畜衛生対策推進協議会
（事務担当：公益社団法人中央畜産会　衛生指導部）
〒101-0021 東京都千代田区外神田２－１６－２
第２ディーアイシービル９階
電話　：　03-6206-0832　（担当　：　鈴木、松本）
Fax　：　03-5289-0890

なお、本会から直接電話連絡する場合には、03-6206-0832 又は 0835 からとなります。

メールアドレス　：　rinshou@sec.lin.gr.jp
中央畜産会ホームページ　：　https://jlia.lin.gr.jp

別添１

臨床実習研修カリキュラム

（カリキュラムは、現在の予定であり、今後変更されることがあります。）

Ａ　酪農学園大学

	9：00～12：00	13：00～17：00
8 月 22 日 （月）	・開講式 ・オリエンテーション ・牛の身体検査と臨床検査の基礎	
8 月 23 日 （火）	・雌牛の生殖器検査と人工授精の基本	
8 月 24 日 （水）	・乳牛群の健康管理とモニタリング	
8 月 25 日 （木）	・牛の内科診断と外部農場診療活動	
8 月 26 日 （金）	・牛の運動器疾患の診断と治療 ・総合ディスカッション ・閉講式（修了証の授与）	

Ｂ　岩手大学（牛）

	9：00～12：00	13：00～17：00
8 月 22 日 （月）	・開講式 ・オリエンテーション	・牛の診療の基本 （スキルラボモデル及び実習牛）
8 月 23 日 （火）	・牛のハンドリングと診療の実際	
8 月 24 日 （水）	・牛の繁殖機能検査	
8 月 25 日 （木）	・近郊農場診療実習	・院内診療実習
8 月 26 日 （金）	・病理解剖実習	・症例検討会 ・総合ディスカッション ・閉講式（修了証の授与）

C　麻布大学（豚）

	9：00〜12：00	13：00〜17：00
2月13日 （月）	・開講式 ・オリエンテーション ・豚について（座学）	・豚の一般検査実習 （豚のハンドリング、試料採取法） ・豚の血液検査法
2月14日 （火）	・豚の病理解剖法（座学） ・病原体検索法	・病豚の病理解剖実習 ・病原体検索実習（採材法）
2月15日 （水）	・豚の栄養学（座学） ・豚の繁殖学（座学）	・豚臨床繁殖実習 （発情観察、妊娠鑑定手法、直腸検査法） ・病原体検索実習（細菌検査）
2月16日 （木）	・豚の感染症（座学） ・豚の肢蹄障害（座学）	・病原体検索実習（ＰＣＲ検査） ・獣医疫学的手法と実際の農場対応 （座学＋演習） ・発表会資料作成
2月17日 （金）	・養豚に関わる臨床獣医師の仕事（座学） ・病理切片観察 ・発表会資料作成	・症例発表会 ・総合討論 ・閉講式（修了証の授与）

D　山口大学（馬）

	8：30〜12：00	13：00〜17：00	その他
8月22日 （月）	8：30 農学部・共同獣医学部 棟5番講義室集合 ・オリエンテーション ・救急医療の基礎（医療面接、診察、保定、採血、注射法、経鼻・経口投与法、歯科）	・眼科実習 （各種検査法、局所麻酔法、角膜縫合、結膜フラップ、点眼留置、眼瞼縫合、超音波検査、学内見学）	懇親会 （18：00〜20：00）
8月23日 （火）	・循環器実習 （心臓疾患の病態と病理解剖法、心電・心音図検査、超音波検査）	・呼吸器実習 （内視鏡検査、気管支肺胞洗浄、超音波検査、永久気管開口術、円鋸術、喉頭形成術）	症例検討会 （ディスカッション） （18：00〜20：00）
8月24日 （水）	・跛行診断実習 （歩様検査、触診、超音波検査、診断麻酔法）	・消化器内科実習 （疝痛診断治療、合併症、直腸検査、超音波検査、腹水検査、腹腔探査（シミュレーター新作）・腸管縫合、経鼻胃カテーテル）	症例検討会 （ｽﾗｲﾄﾞ作成） （18：00〜20：00）
8月25日 （木）	・画像診断実習 （Ｘ線撮影法、フィルムリーディング、四肢局所解剖） ・11：00〜　CT、MRI、核医学	・整形外科実習 （キャスト固定、AO法による整形外科（Lag、ﾜｲﾔｰ、DCP、LCP））	症例発表会 （18：00〜20：00）
8月26日 （金）	・繁殖実習 （馬の繁殖疾患、生殖器解剖）	・麻酔実習 （倒馬・覚醒法、麻酔管理） ・病理解剖 ・17：00〜修了証授与・総括・解散	反省会 （18：30〜21：00）

＊持参品：　つなぎ、帽子、聴診器、秒針つき時計、プレゼンテーション用ノートパソコンもしくはタブレット。
＊大学 ⇔ ホテル間の移動は毎朝ホテル前より出発するタクシーに乗車します。

E　宮崎大学（牛）

	9：00〜12：00	13：00〜17：00
8月29日（月）	・開講式、オリエンテーション ・牛の臨床検査①（講義） ・身体検査、臨床検査 （血液検査、尿検査、第一胃検査）	・牛の臨床検査①（実習） ・身体検査、臨床検査 （血液検査、尿検査、第一胃検査）
8月30日（火）	・牛の臨床検査②（実習） （症例牛の臨床検査と生前診断）	・牛の臨床検査②（実習） ・解剖実習（症例牛の総合診断）
8月31日（水）	・牛の臨床検査③（講義） 繁殖機能検査（膣検査、直腸検査、超音波診断）	・牛の臨床検査③（実習） 繁殖機能検査（膣検査、直腸検査、超音波診断）
9月1日（木）	・牛の感染症（講義） 口蹄疫、牛伝染性リンパ腫 ・牛の感染症（演習） 防疫演習	・牛の感染症（見学） 口蹄疫メモリアルセンター（高鍋町）
9月2日（金）	・総合ディスカッション ・閉講式（修了証の授与）	

F　鹿児島大学（牛）

	9：00〜12：00	13：00〜16：00
8月29日（月）	・開講式、オリエンテーション ・牛診療の基礎（講義）	・牛の検査と治療（講義） ・牛の画像検査（講義）
8月30日（火）	・牛診療の基礎（牧場実習）	・牛疾病の診断と治療（牧場実習）
8月31日（水）	・移動 ・大隅地域での牛疾病と治療（講義）	・牛疾病の診断と治療（現地農場）
9月1日（木）	・牛疾病の診断と治療（現地農場）	・牛疾病の診断と治療（現地農場） ・移動
9月2日（金）	・牛疾病の外科手術	・各実習の総括 ・総合ディスカッション ・閉講式（修了証の授与）

G　鹿児島大学（馬）

	AM　　9：00～12：00	PM　　13：00～16：00
8月22日 （月）	・開講式 ・オリエンテーション ・総論（馬の特性、一般検査等）	実習用馬での実習 ・ハンドリング、乗馬 ・一般検査（視診、触診、聴診、打診） ・採血法、注射法
8月23日 （火）	・繁殖学、外科学（整形外科）	実習用馬での実習 ・内視鏡検査法 ・超音波検査法（心エコー、腱エコー） ・経鼻カテーテル挿入法
8月24日 （水）	・麻酔学、感染症学	実習用馬での実習 ・全身麻酔法 ・CT撮影法 ・レントゲン検査法
8月25日 （木）	・外科学（消化器、呼吸器）	実習用馬での実習（上記不足分） 解剖体での実習 ・結紮法 ・関節鏡手術 ・雌生殖器触診
8月26日 （金）	実習用馬での実習（上記不足分） 解剖体での実習 ・喉頭形成術、腸管吻合 ・螺子固定術、縫合法	・総合ディスカッション ・閉講式（修了証の授与）

別添２

行政体験研修カリキュラム事例

事例（案）

	午　　前	午　　後
１日目(月)		オリエンテーション 家畜保健衛生所の業務概要等の説明
２日目(火)	家畜伝染病予防法巡回検査 　牛結核病、ブルセラ病、ヨーネ病	検査室業務 　牛ヨーネ病検査、糞便検査
３日目(水)	病性鑑定業務 　病理解剖（牛）	検査室業務 　細菌検査実習等
４日目(木)	放牧衛生検査 　妊娠鑑定、採血等	検査室業務 　ピロプラズマ病検査、血液検査、染色法
５日目(金)	病性鑑定業務 　病理組織検査、細胞観察等 研修終了に伴う感想等意見交換	

(注)　行政体験研修のカリキュラムは、受講する家畜保健衛生所の業務の実施状況等によりそれぞれ異なりますのでご留意願います。

産業動物の臨床実習・行政体験研修の開催案内

チャレンジ！

参加者募集！

研修経費一部助成

農林水産省の支援を受け、産業動物獣医療について理解を深めていただくための臨床実習研修及び行政体験研修を以下のとおり実施します。

研修開催場所までの交通費（鉄道切符、航空券等）・宿泊費について、助成します。
（ただし、上限があります）

令和4年度
開催場所・時期、募集人数等

Ⅰ 臨床実習研修

A 酪農学園大学（対象:4、5年生）10名
令和4年8月22日（月）～8月26日（金）5日間
★動物病院において、症例を用いて臨床診断・治療法を、また、農場において診療・疾病予防の実際を学ぶ。
対象家畜 ▼ 牛

B 岩手大学（対象:3～5年生）10名
令和4年8月22日（月）～8月26日（金）5日間
★牛の診療の基本、牛のハンドリングやロープワーク等を含めた治療の基本手技及び繁殖関連疾病の診断と治療の実際や病理解剖について学ぶ。
対象家畜 ▼ 牛

C 麻布大学（対象:4、5年生）10名
令和5年2月13日（月）～2月17日（金）5日間
★学内実習場において、衛生管理技術等の習得とともに内科学的診断・治療法、繁殖障害の診断・治療法等を学ぶ。
対象家畜 ▼ 豚

D 山口大学（対象:4、5年生）10名
令和4年8月22日（月）～8月26日（金）5日間
★馬の救急医療に必要な知識および技術を山口大学のHands-onプログラムとCase discussionを通して学ぶ。
対象家畜 ▼ 馬

E 宮崎大学（対象:3～5年生）10名
令和4年8月29日（月）～9月2日（金）5日間
★産業動物診療施設を生かした実習（大動物用X線CT検査、腹腔鏡検査等）を中心として、内科診断学、外科的疾患の診断・治療、繁殖障害の診断・治療、感染症および防疫について学ぶ。
対象家畜 ▼ 牛

F 鹿児島大学（対象:4、5年生）10名
令和4年8月29日（月）～9月2日（金）5日間
★牛の臨床現場で必要とされる基礎的な臨床検査及び診療技術について学ぶ。
対象家畜 ▼ 牛

G 鹿児島大学（対象2～5年生）10名
令和4年8月22日（月）～8月26日（金）5日間
★馬の臨床現場で必要とされる基礎的な臨床検査及び診療技術について学ぶ。
対象家畜 ▼ 馬

H 日本養豚開業獣医師協会（対象:2～5年生）10名
令和4年8月～9月頃（期間中の5日間）
（時期及び研修場所については、受入側と相談して決まります。）
★現役で活躍している養豚専門獣医師の診療活動に同行して、疾病の診断・治療法を学ぶとともに、農場全体としての飼養衛生管理指導等を学ぶ。
対象家畜 ▼ 豚

I 日高獣医師会（対象:2～5年生）2名
令和4年8月1日(月)～8月5日(金)
★北海道日高管内において、馬の診療活動等に同行し、疾病の診断・治療法並びに飼養衛生管理指導等を学ぶ。
対象家畜 ▼ 馬

J 農業共済組合（対象:2～5年生）
令和4年8月～9月頃（期間中の5日間）
（時期及び研修場所については、受入側と相談して決まります。）
★農業共済組合等の診療施設で、獣医師職員に同行して、疾病の診断・治療法、飼養衛生管理指導等を学ぶ。
対象家畜 ▼ 乳牛、肉牛

（ア）千葉県農業共済組合	2名程度
（イ）滋賀県農業共済組合	3名程度
（ウ）兵庫県農業共済組合	19名程度
（エ）愛媛県農業共済組合	2名程度
（オ）鹿児島県農業共済組合	16名程度

（注）定員をオーバーした場合には、参加できない場合があります。

Ⅱ 行政体験研修

❶ 開催場所
次の都道府県の家畜保健衛生所において、5日間程度の体験研修を実施します。

北海道	埼玉県	福井県	和歌山県	福岡県
岩手県	千葉県	岐阜県	鳥取県	佐賀県
宮城県	東京都	静岡県	島根県	長崎県
秋田県	神奈川県	愛知県	岡山県	熊本県
山形県	新潟県	三重県	広島県	大分県
福島県	山梨県	滋賀県	山口県	宮崎県
茨城県	長野県	京都府	徳島県	鹿児島県
栃木県	富山県	兵庫県	香川県	沖縄県
群馬県	石川県	奈良県	愛媛県	

❷ 対象：1～5年生

❸ 募集人数：150名程度

❹ 研修内容：
都道府県の家畜保健衛生所を中心として、畜産農家に対する防疫・衛生指導、室内検査等行政機関勤務獣医師の業務を学ぶ（44都道府県）。

■ 受講者受付期限
令和4年 6月15日（水）～7月5日（火）

新型コロナウイルスの感染状況によって、実習が変更または、中止になる事がございます。

主催 家畜衛生対策推進協議会（事務担当：中央畜産会衛生指導部） **電話 03-6206-0832**

募集要領等につきましては、中央畜産会ホームページ（https://jlia.lin.gr.jp）をご覧下さい。

Ⅱ行政体験研修

1 開催場所及び開催時期

次の各都道府県の家畜保健衛生所等において、5日間程度の研修を実施します。

〔○囲み数字は、各都道府県の受講可能時期です。各都道府県家保別の詳細日程は、別途WEB上から申込時に確認願います。〕

【北海道・東北地方】
北海道（②、③、⑥）
岩手県（①、③、④）
宮城県（③～⑤）
秋田県（③～⑥）
山形県（①、④、⑤）
福島県（①、④～⑥）

【関東・甲信越地方】
茨城県（①～⑦）
栃木県（①、③～⑥）
群馬県（①～⑦）
埼玉県（④、⑥）
千葉県（⑤）
東京都（③、⑤）
神奈川県（①、⑤、⑥）
新潟県（①、③～⑦）
山梨県（①～⑦）
長野県（①、③～⑦）

【東海・北陸地方】
富山県（⑤～⑦）
石川県（④）
福井県（④～⑥）
岐阜県（①～⑦）
静岡県（⑤）
愛知県（④、⑥）
三重県（③）

【近畿地方】
滋賀県（④、⑤）
京都府（②、③、⑤）
兵庫県（①～⑦）
奈良県（⑥）
和歌山県（①、④～⑦）

【中国・四国地方】
鳥取県（①、③～⑥）
島根県（②～④）
岡山県（④～⑦）
広島県（②）
山口県（①～⑦）
徳島県（①～⑦）
香川県（①～⑤）
愛媛県（①～⑦）

【九州・沖縄地方】
福岡県（⑤～⑦）
佐賀県（③～⑦）
長崎県（①、③～⑦）
熊本県（③、⑤）
大分県（②、③、⑤、⑥）
宮崎県（①～⑦）
鹿児島県（⑦）
沖縄県（②～⑦）

◆受講可能時期

①令和4年8月 1 日（月）～8月 5 日（金） 5日間
②令和4年8月15日（月）～8月19日（金） 5日間
③令和4年8月22日（月）～8月26日（金） 5日間
④令和4年8月29日（月）～9月 2 日（金） 5日間
⑤令和4年9月 5 日（月）～9月 9 日（金） 5日間
⑥令和4年9月12日（月）～9月16日（金） 5日間
⑦令和4年9月26日（月）～9月30日（金） 5日間

2 募集人数、応募資格（獣医学部（学科）在籍者）

150名程度（1年生～5年生）

3 研修内容

都道府県の家畜保健衛生所を中心として、畜産農家に対する防疫・衛生指導、室内検査等行政機関勤務獣医師の業務を学ぶ（44都道府県）。

4 受講者受付期限

令和4年6月15日（水）～7月5日（火）

新型コロナウイルスの感染状況によって、実習が変更または、中止になる事がございます。

産業動物（牛・馬・豚等）の臨床実習・行政体験研修へのおさそい

産業動物及び公務員分野で活動している獣医師の活動内容を実際に理解・体験してもらうために、大学、県、農業共済組合、養豚開業獣医師等の協力を得て、臨床実習・行政体験研修を実施いたします。

受講を希望する方は、公益社団法人中央畜産会ホームページ（https://jlia.lin.gr.jp）にアクセスして、「令和4年度　産業動物臨床実習・行政体験研修 受講申込」から申込みを行ってください。

なお、家畜伝染病の発生状況等により、研修機関によっては、開催できなくなる場合がありますので、予めご了承ください。
また、新型コロナウイルスの感染も考慮して、海外渡航はしないよう、特にご注意願います。

「臨床実習・行政体験研修の特徴・特色」

- 産業動物獣医師の仕事の概要を臨床・行政の現場で直接学ぶことができます。
- 病畜、実習動物を用いて診断、治療方法を学ぶことができます。
- 都道府県の行政機関（主に家畜保健衛生所）勤務獣医師の活動内容を学ぶことができます。
- 在籍大学から研修場所までの交通費（JR・航空機）、研修中の宿泊費（上限は1泊2,500円、4泊まで）について、家畜衛生対策推進協議会が助成します。ただし、研修期間中の食事代は助成されません。

受講者感想

臨床実習研修

- 今回の臨床実習で馬にさらに興味を持ったと同時に、勉強・将来面に関して新しい視野を持つことが出来ました。
- 家畜診療所が実際にどのような役割を果たしているのか等、大動物の分野における獣医師の働き方を知ることができた。また、大学では実際に行ったことのないことを数多く実践することができ、良い経験になった。

行政体験研修

- この研修を通じて公務員獣医師に対する理解が一気に深まりました。低学年の早いうちからこのような研修を受けていれば、より公務員志望の学生も増えると思います。
- 家畜保健衛生所では、どのような業務を行っているのか学び、実際に農家の方々とのやり取りを見ることができて大変勉強になりました。

問い合わせ先

主催　家畜衛生対策推進協議会
（事務担当：公益社団法人中央畜産会衛生指導部）
電話　03-6206-0832
メール　rinshou@sec.lin.gr.jp

公益社団法人中央畜産会のホームページ（https://jlia.lin.gr.jp）に募集要領等を掲載しております。

産業動物の臨床・行政現場体験

令和4年度 産業動物臨床実習・行政体験研修の開催案内 チャレンジ！

研修経費 一部助成

受講者受付期限

令和4年7月5日（火）

家畜衛生対策推進協議会

Ⅰ 臨床実習研修

1 開催場所及び開催時期

Ⓐ酪農学園大学（牛）　令和4年8月22日（月）～8月26日（金）5日間
Ⓑ岩手大学（牛）　令和4年8月22日（月）～8月26日（金）5日間
Ⓒ麻布大学（豚）　令和5年2月13日（月）～2月17日（金）5日間
Ⓓ山口大学（馬）　令和4年8月22日（月）～8月26日（金）5日間
Ⓔ宮崎大学（牛）　令和4年8月29日（月）～9月２日（金）5日間
Ⓕ鹿児島大学（牛）　令和4年8月29日（月）～9月２日（金）5日間
Ⓖ鹿児島大学（馬）　令和4年8月22日（月）～8月26日（金）5日間
Ⓗ日本養豚開業獣医師協会（豚）
令和4年8月～9月頃（期間中の5日間）
（時期及び研修場所については、受入側と相談して決まります。）
Ⓘ日高獣医師会（馬）
令和4年8月1日（月）～8月5日（金）
Ⓙ農業共済組合（乳牛、肉牛）
令和4年8月～9月頃（期間中の5日間）
（時期及び研修場所については、受入側と相談して決まります。）

2 募集人数、応募資格（獣医学部（学科）在籍者）

Ⓐ酪農学園大学（牛）　：10名（4、5年生）
Ⓑ岩手大学（牛）　：10名（3～5年生）
Ⓒ麻布大学（豚）　：10名（4、5年生）
Ⓓ山口大学（馬）　：10名（4、5年生）
Ⓔ宮崎大学（牛）　：10名（3～5年生）
Ⓕ鹿児島大学（牛）　：10名（4、5年生）
Ⓖ鹿児島大学（馬）　：10名（2～5年生）
Ⓗ日本養豚開業獣医師協会（豚）　：10名（2～5年生）
Ⓘ日高獣医師会（馬）　：　2名（2～5年生）
Ⓙ農業共済組合（乳牛、肉牛）
（ア）千葉県農業共済組合　：　２名程度（2～5年生）
（イ）滋賀県農業共済組合　：　３名程度（2～5年生）
（ウ）兵庫県農業共済組合　：　19名程度（2～5年生）
（エ）愛媛県農業共済組合　：　２名程度（2～5年生）
（オ）鹿児島県農業共済組合　：　16名程度（2～5年生）
（注）定員をオーバーした場合には、参加できない場合があります。

3 研修内容

（カリキュラムは、現在の予定であり、今後変更されることがあります。）

Ⓐ 酪農学園大学（牛）

動物病院において、症例を用いて臨床診断・治療法を、また、農場において診療・疾病予防の実際を学ぶ。

	9:00～12:00	13:00～17:00
8月22日（月）	●開講式　●オリエンテーション　●牛の身体検査と臨床検査の基礎	
8月23日（火）	●雌牛の生殖器検査と人工授精の基本	
8月24日（水）	●乳牛群の健康管理とモニタリング	
8月25日（木）	●牛の内科診断と外部農場診療活動	
8月26日（金）	●牛の運動器疾患の診断と治療　●総合ディスカッション　●閉講式（修了証の授与）	

Ⓑ 岩手大学（牛）

牛の診療の基本、牛のハンドリングやロープワーク等を含めた治療の基本手技及び繁殖関連疾病の診断と治療の実際や病理解剖について学ぶ。

	9:00～12:00	13:00～17:00
8月22日（月）	●開講式 ●オリエンテーション	●牛の診療の基本 （スキルラボモデル及び実習牛）
8月23日（火）	●牛のハンドリングと診療の実際	
8月24日（水）	●牛の繁殖機能検査	
8月25日（木）	●近郊農場診療実習	●院内診療実習
8月26日（金）	●病理解剖実習	●症例検討会　●総合ディスカッション ●閉講式（修了証の授与）

Ⓒ 麻布大学（豚）

学内実習場において、衛生管理技術等の習得とともに内科学的診断・治療法、繁殖障害の診断・治療法等を学ぶ。

	9:00～12:00	13:00～17:00
2月13日（月）	●開講式　●オリエンテーション ●豚について（座学）	●豚の一般検査実習（豚のハンドリング、試料採取法） ●豚の血液検査法
2月14日（火）	●豚の病理解剖法（座学） ●病原体検索法	●病豚の病理解剖実習 ●病原体検索実習（採材法）
2月15日（水）	●豚の栄養学（座学） ●豚の繁殖学（座学）	●豚臨床繁殖実習 （発情観察、妊娠鑑定手法、直腸検査法） ●病原体検索実習（細菌検査）
2月16日（木）	●豚感染症（座学） ●豚の肢跛障害（座学）	●病原体検索実習（PCR検査） ●獣医疫学的手法と実際の農場対応（座学＋演習） ●発表会資料作成
2月17日（金）	●養豚に関わる臨床獣医師の仕事（座学） ●病理切片観察　●発表会資料作成	●症例発表会　●総合討論 ●閉講式（修了証の授与）

Ⓓ 山口大学（馬）

馬の救急医療に必要な知識および技術を山口大学のHands-onプログラムとCase discussionを通して学ぶ。

	8:30～12:00	13:00～17:00	その他
8月22日（月）	8:30 農学部・共同獣医学部棟5番講義室集合 ●オリエンテーション ●救急医療の基礎（医療面接、診察、保定、採血、注射法、経鼻・経口投与法、歯科）	●眼科実習 （各種検査法、局所麻酔法、角膜縫合、結膜フラップ、点眼留置、眼瞼縫合、超音波検査、学内見学）	懇親会 （18:00～20:00）
8月23日（火）	●循環器実習 （心臓疾患の病態と病理解剖法、心電・心音図検査、超音波検査）	●呼吸器実習 （内視鏡検査、気管支肺胞洗浄、超音波検査、永久気管開口術、円錐術、喉頭形成術）	症例検討会 （ディスカッション） （18:00～20:00）
8月24日（水）	●跛行診断実習 （歩様検査、触診、超音波検査、診断麻酔法）	●消化器内科実習 （疝痛診断治療、合併症、直腸検査、超音波検査、腹水検査、腹腔探査（シュミレーター新作）・腸管縫合、経鼻胃カテーテル）	症例検討会 （スライド作成） （18:00～20:00）
8月25日（木）	●画像診断実習 （X線撮影法、フィルムリーディング、四肢局所解剖） ●11:00～　CT、MRI、核医学	●整形外科実習 （キャスト固定、AO法による整形外科（Lag、ワイヤー、DCP、LCP））	症例発表会 （18:00～20:00）
8月26日（金）	●繁殖実習 （馬の繁殖疾患、生殖器解剖）	●麻酔実習 （倒馬・覚醒法、麻酔管理） ●病理解剖 ●17:00～修了証授与・総括・解散	反省会 （18:30～21:00）

＊持参品：つなぎ、帽子、聴診器、秒針つき時計、プレゼンテーション用ノートパソコンもしくはタブレット。
＊大学 ⇔ ホテル間の移動は毎朝ホテル前より出発するタクシーに乗車します。

Ⓔ 宮崎大学（牛）

産業動物診療施設を生かした実習（大動物用X線CT検査、腹腔鏡検査等）を中心として、内科診断学、外科的疾患の診断・治療、繁殖障害の診断・治療、感染症および防疫について学ぶ。

	9:00～12:00	13:00～17:00
8月29日（月）	開講式、オリエンテーション ●牛の臨床検査①（講義） ●身体検査、臨床検査 （血液検査、尿検査、第一胃検査）	●牛の臨床検査①（実習） ●身体検査、臨床検査 （血液検査、尿検査、第一胃検査）
8月30日（火）	●牛の臨床検査②（実習） （症例牛の臨床検査と生前診断）	●牛の臨床検査②（実習） ●解剖実習（症例牛の総合診断）
8月31日（水）	●牛の臨床検査③（講義） 繁殖機能検査（腟検査、直腸検査、超音波診断）	●牛の臨床検査③（実習） 繁殖機能検査（腟検査、直腸検査、超音波診断）
9月1日（木）	●牛の感染症（講義） 口蹄疫、牛伝染性リンパ腫 ●牛の感染症（演習） 防疫演習	●牛の感染症（見学） 口蹄疫メモリアルセンター（高鍋町）
9月2日（金）	●総合ディスカッション ●閉講式（修了証の授与）	

Ⓕ 鹿児島大学（牛）

牛の臨床現場で必要とされる基礎的な臨床検査及び診療技術について学ぶ。

	9:00～12:00	13:00～16:00
8月29日（月）	●開講式、オリエンテーション ●牛診療の基礎（講義）	●牛の検査と治療（講義） ●牛の画像検査（講義）
8月30日（火）	●牛診療の基礎（牧場実習）	●牛疾病の診断と治療（牧場実習）
8月31日（水）	●移動 ●大隅地域での牛疾病と治療（講義）	●牛疾病の診断と治療（現地農場）
9月1日（木）	●牛疾病の診断と治療（現地農場）	●牛疾病の診断と治療（現地農場） ●移動
9月2日（金）	●牛疾病の外科手術	●各実習の総括　●総合ディスカッション ●閉講式（修了証の授与）

Ⓖ 鹿児島大学（馬）

馬の臨床現場で必要とされる基礎的な臨床検査及び診療技術について学ぶ。

	9:00～12:00	13:00～16:00
8月22日（月）	●開講式 ●オリエンテーション ●総論（馬の特性、一般検査等）	実習用馬での実習 ●ハンドリング、乗馬 ●一般検査（視診、触診、聴診、打診） ●採血法、注射法
8月23日（火）	●繁殖学、外科学（整形外科）	実習用馬での実習 ●内視鏡検査法 ●超音波検査法（心エコー、腱エコー） ●経鼻カテーテル挿入法
8月24日（水）	●麻酔学、感染症学	実習用馬での実習 ●全身麻酔法　●CT撮影法 ●レントゲン検査法
8月25日（木）	●外科学（消化器、呼吸器）	実習用馬での実習（上記不足分） 解剖体での実習 ●結紮法　●関節鏡手術　●雌生殖器触診
8月26日（金）	実習用馬での実習（上記不足分） 解剖体での実習 ●喉頭形成術、腸管吻合 ●煙子固定術、縫合法	●総合ディスカッション ●閉講式（修了証の授与）

Ⓗ 日本養豚開業獣医師協会（豚）

現役で活躍している養豚専門獣医師の診療活動に同行して、疾病の診断・治療法を学ぶとともに、農場全体としての飼養衛生管理指導等を学ぶ。

Ⓘ 日高獣医師会（馬）

北海道日高管内において、馬の診療活動等に同行し、疾病の診断・治療法並びに飼養衛生管理指導等を学ぶ。

Ⓙ 農業共済組合（乳牛、肉牛）

農業共済組合等の診療施設で、獣医師職員に同行して、疾病の診断・治療法、飼養衛生管理指導等を学ぶ。

4 受講者受付期限

令和4年6月15日（水）～7月5日（火）

新型コロナウイルスの感染状況によって、実習が変更または、中止になる事がございます。

令和4年度臨床実習等支援事業の実績

1　検討会の開催

区分	開催日時・場所	検討事項
育成・確保推進検討会	令和4年6月3日(金) (書面開催)	就業研修、講習会等の 実施内容、カリキュラム等
育成・確保支援検討会		

2　臨床実習研修

開催場所	開催時期	参加学生数
酪農学園大学(牛)	令和4年8月22日～8月26日	9 名
岩手大学(牛)	令和4年8月22日～8月26日	9 名
麻布大学(豚)	令和5年2月13日～2月17日	3 名
山口大学（馬)	令和4年8月22日～8月26日	10 名
宮崎大学(牛)	令和4年8月29日～9月2日	4 名
鹿児島大学(牛)	令和4年8月29日～9月2日	7 名
鹿児島大学(馬)	令和4年8月22日～8月26日	10 名
日本養豚開業獣医師協会	令和4年8月～9月の期間中	7 名
日高獣医師会（馬)	令和4年8月1日～8月5日	2 名
千葉県農業共済組合	令和4年8月～9月の期間中	2 名
滋賀県農業共済組合	令和4年8月～9月の期間中	1 名
兵庫県農業共済組合	令和4年8月～9月の期間中	3 名
愛媛県農業共済組合	令和4年8月～9月の期間中	2 名
鹿児島県農業共済組合	令和4年8月～9月の期間中	2 名
計		71 名

3　行政体験研修

開催場所	開催時期	参加学生数
家畜保健衛生所等（　42都道府県) 北海道、岩手、宮城、秋田、山形、福島、茨城、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀、京都、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	令和4年8月 ～9月 期間中に、5日間の研修を実施	189 名

4　畜種別疾病講習会の開催状況

開催場所	開催時期	参加学生数	備考
北里大学	令和4年10月18日	126 名	
麻布大学	令和4年10月21日	68 名	
岐阜大学	令和4年12月16日	32 名	
鳥取大学	令和4年10月24日	36 名	
	令和4年10月31日	36 名	
山口大学	令和4年12月22日	43 名	
宮崎大学	令和4年10月31日	31 名	
鹿児島大学	令和4年12月2日	30 名	
計		402 名	計 8回

5　理解醸成のための講習会の開催状況

開催場所	開催時期	参加学生数	備考
北海道大学	令和4年12月13日	41 名	
酪農学園大学	令和4年11月9日	150 名	
北里大学	令和4年10月17日	126 名	
東京農工大学	令和4年12月1日	38 名	
麻布大学	令和4年12月2日	72 名	
岐阜大学	令和4年12月13日	32 名	
鳥取大学	令和4年11月7日	36 名	
宮崎大学	令和4年10月31日	31 名	
計		526 名	計 8回

【参考】

令和4年度　臨床実習研修・行政体験研修への応募・決定状況

（大学別）

大学名	応募者数						受講決定	受講者数
	1年	2年	3年	4年	5年	計		
北海道大学			1	2	2	5	5	5
帯広畜産大学			2	3	5	10	10	10
岩手大学			25	26	8	59	57	52
東京大学					4	4	4	4
東京農工大学	1		5	17	7	30	29	29
岐阜大学	1		4		1	6	5	5
鳥取大学	1		1		13	15	15	14
山口大学	1	1	9	5	4	20	20	19
宮崎大学			2	6	2	10	10	10
鹿児島大学		2	2			4	4	4
大阪公立大学			7	3	1	11	10	10
酪農学園大学			1		4	5	5	4
北里大学		1	1	4	9	15	15	14
日本大学	1	2	8	1	9	21	18	17
日本獣医生命科学大学	4		3	2	3	12	9	9
麻布大学	1	3	10	11	28	53	52	48
岡山理科大学				2	4	6	6	6
計（応募者数）	10	9	81	82	104	286		
計（決定者数）	4	7	77	82	104		274	
計（受講者数）								260

令和4年度 応募者・受講決定者数（大学別）
70
60
50
40
30
20
10
0
北海道大学
帯広畜産大学
岩手大学
東京大学
東京農工大学
岐阜大学
信州大学
山口大学
宮崎大学
鹿児島大学
大阪公立大学
獨協医科大学
北里大学
日本大学
日本獣医生命科学大学
麻布大学
岡山理科大学
応募者
受講決定

【参考】

○　行政体験研修（都道府県別）

	都道府県	受講決定	受講者数
1	北海道	10	10
2	青森県		受入なし
3	岩手県	2	2
4	宮城県	2	2
5	秋田県	4	4
6	山形県	4	4
7	福島県	7	7
8	茨城県	6	6
9	栃木県	2	（中止）
10	群馬県	6	6
11	埼玉県	6	6
12	千葉県	6	6
13	東京都	6	6
14	神奈川県	5	5
15	新潟県	5	5
16	富山県	2	2
17	石川県	2	2
18	福井県	2	2
19	山梨県	3	3
20	長野県	6	5
21	岐阜県	5	5
22	静岡県	2	2
23	愛知県	8	8
24	三重県	4	3

	都道府県	受講決定	受講者数
25	滋賀県	4	4
26	京都府	4	4
27	大阪府		受入なし
28	兵庫県	15	12
29	奈良県	2	2
30	和歌山県	2	2
31	鳥取県	3	3
32	島根県		（募集中止）
33	岡山県	5	5
34	広島県	3	3
35	山口県	4	4
36	徳島県	1	1
37	香川県	2	2
38	愛媛県	6	6
39	高知県		受入なし
40	福岡県	5	5
41	佐賀県	4	4
42	長崎県	7	6
43	熊本県	2	2
44	大分県	2	2
45	宮崎県	15	14
46	鹿児島県	2	2
47	沖縄県	5	5
計		156	189

○ 臨床実習研修

実施場所	受講決定	受講者数
酪農学園大学（牛）	10	9
岩手大学（牛）	9	9
麻布大学（豚）	4	3
山口大学（馬）	10	10
宮崎大学（牛）	4	4
鹿児島大学（牛）	7	7
鹿児島大学（馬）	10	10
日本養豚開業獣医師協会（豚）	8	7
日高獣医師会（馬）	2	2
千葉県農業共済組合	2	2
滋賀県農業共済組合	1	1
兵庫県農業共済組合	4	3
愛媛県農業共済組合	2	2
鹿児島県農業共済組合	3	2
計	76	71

○ 研修別応募・受講状況（全体）

区分	応募者数	受講決定者数	受講者数
臨床実習	77	76	71
行政体験	209	198	189
計	286	274	260

臨床実習等支援事業（臨床実習・行政体験研修）アンケート集計結果

問1　研修場所はどこでしたか。

		回答数	構成比
1	酪農学園大学（牛）	9	3.8%
2	岩手大学（牛）	9	3.8%
3	麻布大学（豚）	3	1.3%
4	山口大学（馬）	10	4.2%
5	宮崎大学（牛）	3	1.3%
6	鹿児島大学（牛）	7	2.9%
7	鹿児島大学（馬）	9	3.8%
8	日本養豚開業獣医師協会（豚）	4	1.7%
9	日高獣医師会	2	0.8%
10	各県農業共済組合	9	3.8%
11	行政体験研修	174	72.8%
	無回答	0	0.0%
	計	239	

問2　あなた（受講者）の学年を教えてください。

		回答数	構成比
1	1年	5	2.1%
2	2年	6	2.5%
3	3年	59	24.7%
4	4年	76	31.8%
5	5年	93	38.9%
	無回答	0	0.0%
	計	239	

問3　今回の研修への応募理由・動機はなんですか。（複数回答有り）

		回答数	構成比
1	産業動物関係への就職を希望	51	21.7%
2	就職の検討のため	81	34.5%
3	現場を知りたい	122	51.9%
4	その他	19	8.1%
	無回答	0	0.0%
	計	235	

問4　研修の期間は、適当でしたか。

		回答数	構成比
1	ちょうどよかった	221	93.6%
2	もっと長期の方がよかった	8	3.4%
3	もっと短期の方がよかった	6	2.5%
	無回答	1	0.4%
	計	236	

問5　研修内容について理解できましたか

		回答数	構成比
1	よく理解できた	170	71.1%
2	理解できた	65	27.2%
3	あまり理解できなかった	2	0.8%
4	難しすぎた	0	0.0%
	無回答	2	0.8%
	計	239	

問6　カリキュラムの組立ては、講義、実習どちらに
重点を置いた方が良かったですか

		回答数	構成比
1	講義が主体	1	0.4%
2	講義と実習が半々	60	25.1%
3	実習が主体	144	60.3%
4	職場訪問主体	33	13.8%
	無回答	1	0.4%
	計	239	

問7　カリキュラムの内容について感想はどうでしたか

		回答数	構成比
1	満足している	197	82.4%
2	ほぼ満足している	35	14.6%
3	普通	4	1.7%
4	やや不満	2	0.8%
5	不満	0	0.0%
	無回答	1	0.4%
	計	239	

問8　前記7で4あるいは5に○を付けた方は、お答えください。

		回答数	構成比
1	専門内容が少なかった	0	0.0%
2	専門すぎた内容が多すぎた	1	33.3%
3	もっと診療等の現場をみたかった	2	66.7%
4	その他(記述有り)	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	計	3	

問9　産業動物診療獣医師や農林水産分野の公務員獣医師への
関心は深まりましたか。

		回答数	構成比
1	深まった	202	84.9%
2	少し深まった	35	14.7%
3	変わらない	1	0.4%
4	関心がなくなった	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	計	238	

問10　研修を経験して、産業動物獣医師への就業意欲が変化したか教えてください。
【産業動物診療獣医師又は農林水産分野の公務員獣医師への就業意欲が】

		回答数	構成比
1	非常に高まった	77	32.5%
2	高まった	131	55.3%
3	変わらなかった	24	10.1%
4	下がった	3	1.3%
5	非常に下がった	0	0.0%
	無回答	2	0.8%
	計	237	

問11　研修を経験して、第一志望分野が変化したか教えてください。

【研修前】

		回答数	構成比
1	産業動物診療獣医師又は農林水産分野の公務員獣医師	91	38.2%
2	産業動物診療獣医師又は農林水産分野の公務員獣医師以外の分野	59	24.8%
3	未定	88	37.0%
	無回答	0	0.0%
	計	238	

【研修後】

		回答数	構成比
1	産業動物診療獣医師又は農林水産分野の公務員獣医師	113	47.5%
2	産業動物診療獣医師又は農林水産分野の公務員獣医師以外の分野	37	15.5%
3	未定	87	36.6%
	無回答	0	0.0%
	計	237	

問12　今後の研修時期としては、いつ頃が参加しやすいとお考えですか。
（複数回答有り）

		回答数	構成比
1	夏期休暇前半	80	32.1%
2	夏期休暇後半	108	43.4%
3	冬期休暇中	17	6.8%
4	随時	43	17.3%
	無回答	1	0.4%
	計	249	

問13　本研修でお困りの点はありましたか。

		回答数	構成比
1	記述あり	186	78.5%
	無回答	51	21.5%
	計	237	

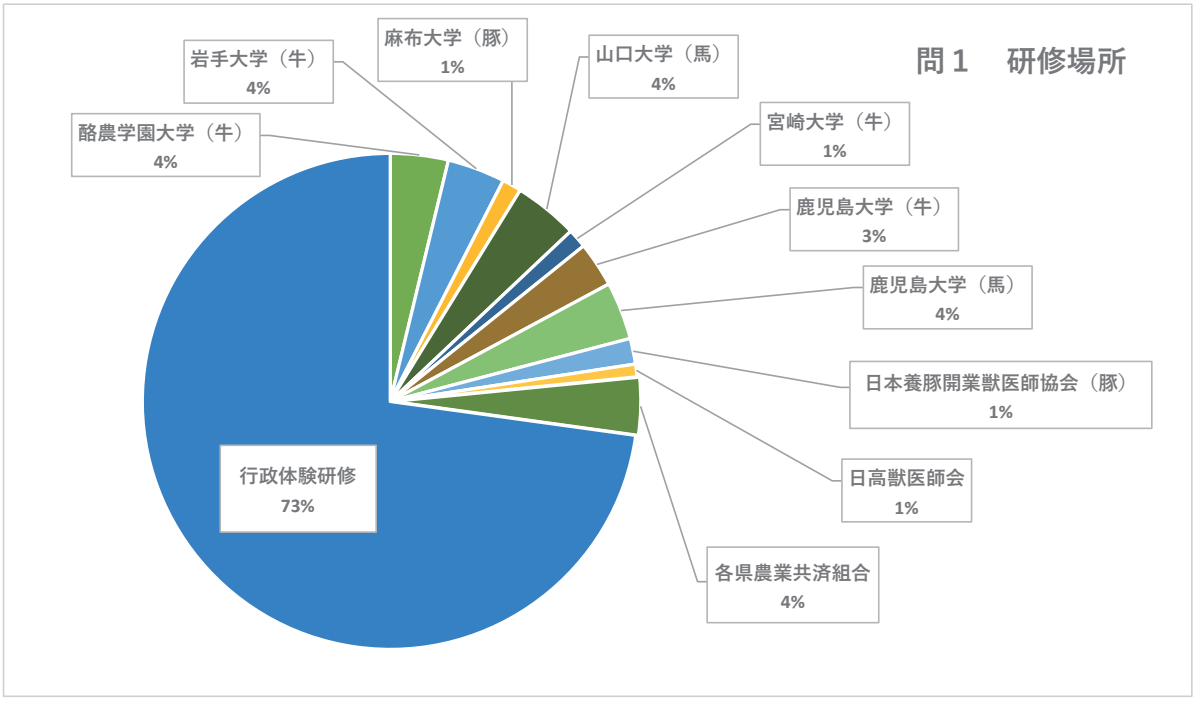
問14　本研修についてのご意見、感想、体験談及び今後の実施に向けたご意見等をお書きください。

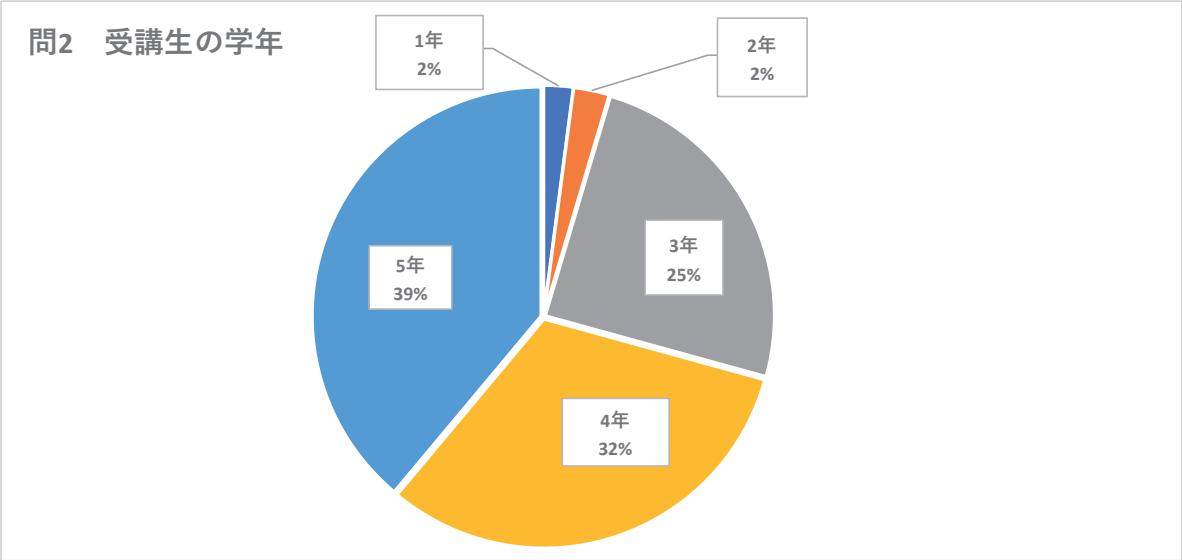
		回答数	構成比
1	記述あり	200	84.4%
	無回答	37	15.6%
	計	237	

問15　これまでに学外で他の臨床・体験研修の受講歴はありますか。

		回答数	構成比
	【産業動物関係】		
1	無し	176	74.6%
2	有り	60	25.4%
	無回答	0	0.0%
	計	236	
	【小動物関係】		
1	無し	205	87.2%
2	有り	28	11.9%
	無回答	2	0.9%
	計	235	

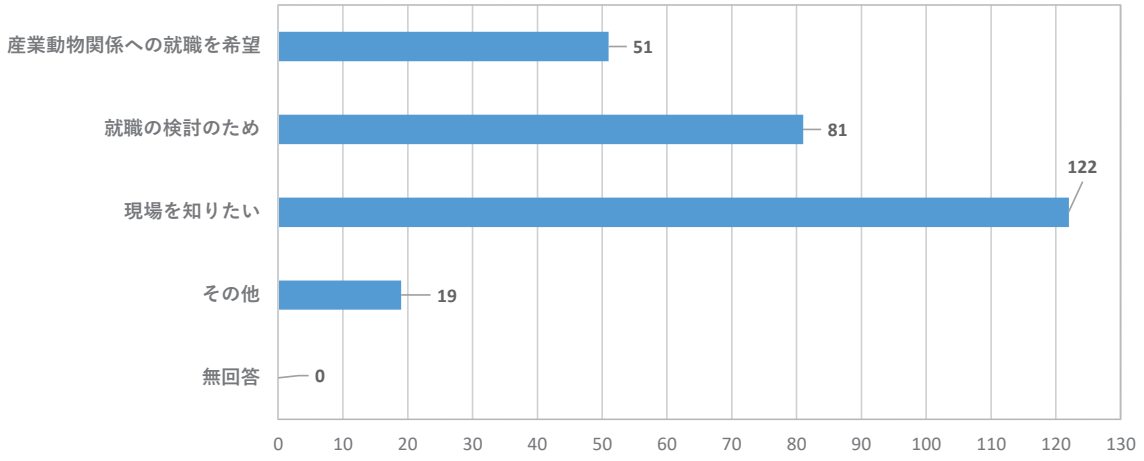
アンケート集計（グラフ）


問１　研修場所
麻布大学（豚）
1%
山口大学（馬）
4%
岩手大学（牛）
4%
酪農学園大学（牛）
4%
宮崎大学（牛）
1%
鹿児島大学（牛）
3%
鹿児島大学（馬）
4%
日本養豚開業獣医師協会（豚）
1%
日高獣医師会
1%
各県農業共済組合
4%
行政体験研修
73%


問2　受講生の学年
1年
2%
2年
2%
3年
25%
4年
32%
5年
39%

問３ 研修の応募理由・動機

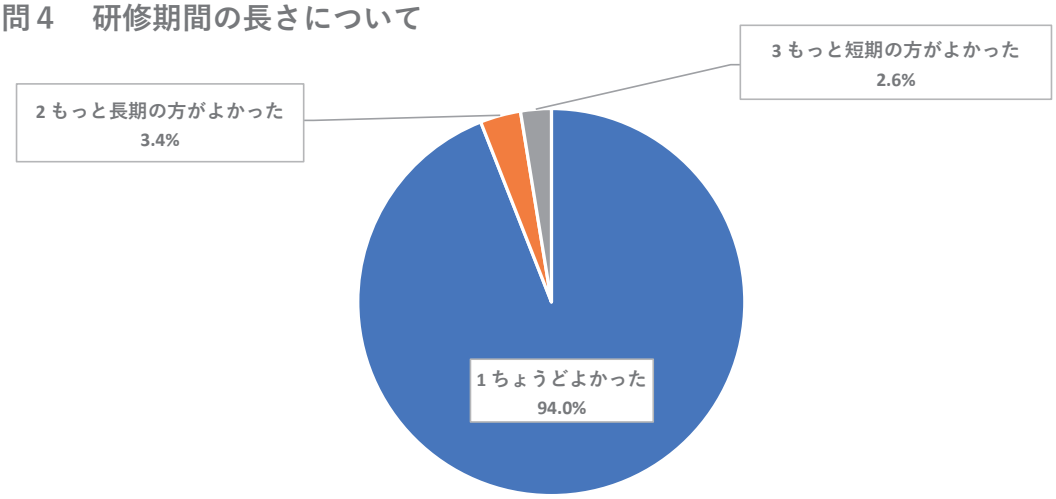
＊複数回答／回答数表示



（その他を選択）理由・動機

・必修単位取得のため
・必要単位の獲得と実際に見てみたいという興味
・見聞を広めるため
・馬の臨床学を学びたかったため。
・自身の技術や知識を充実させるため
・公衆衛生実践実習の一環として
・大学の実習のため
・普段豚を大学で触ることはないため、理解を深めたいと思った
・在籍大学では豚の実習がなかったため、豚の実際を知りたいと思ったため

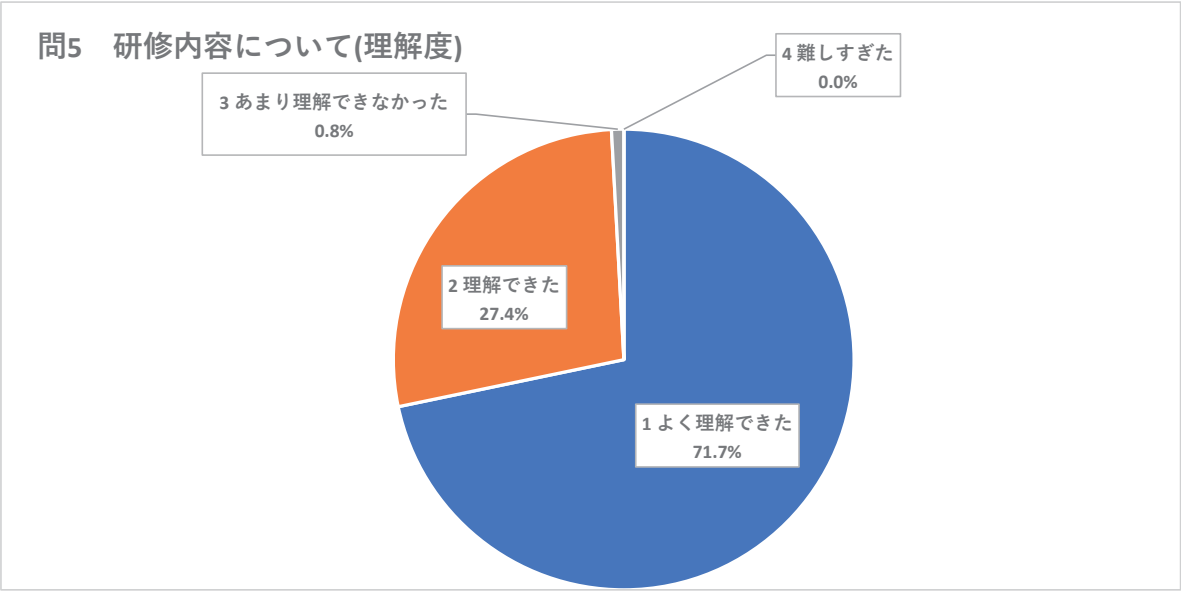
問４　研修期間の長さについて

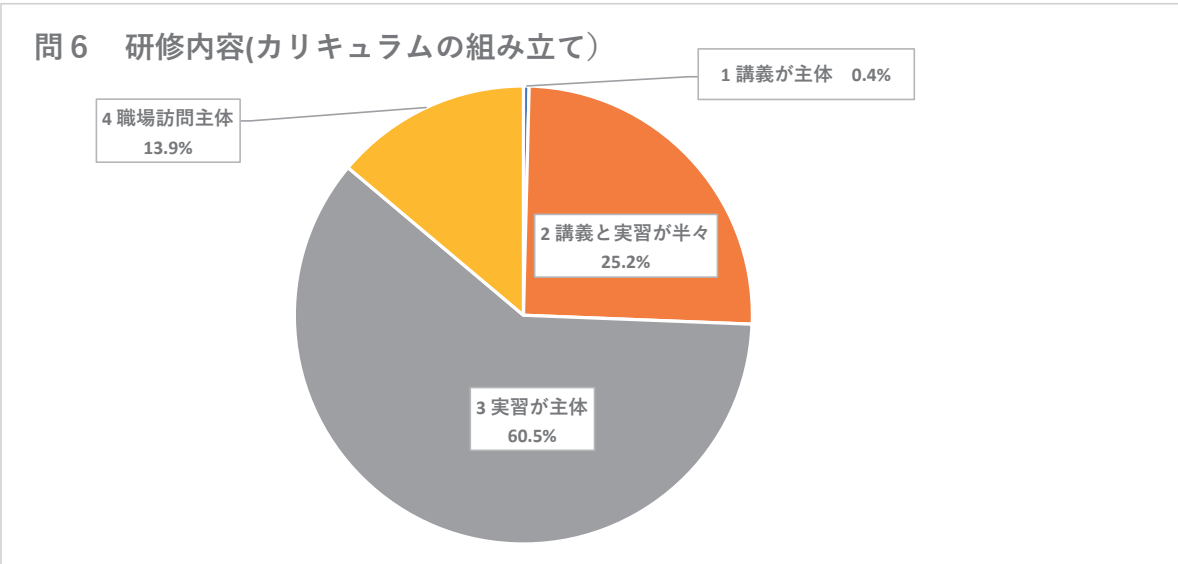


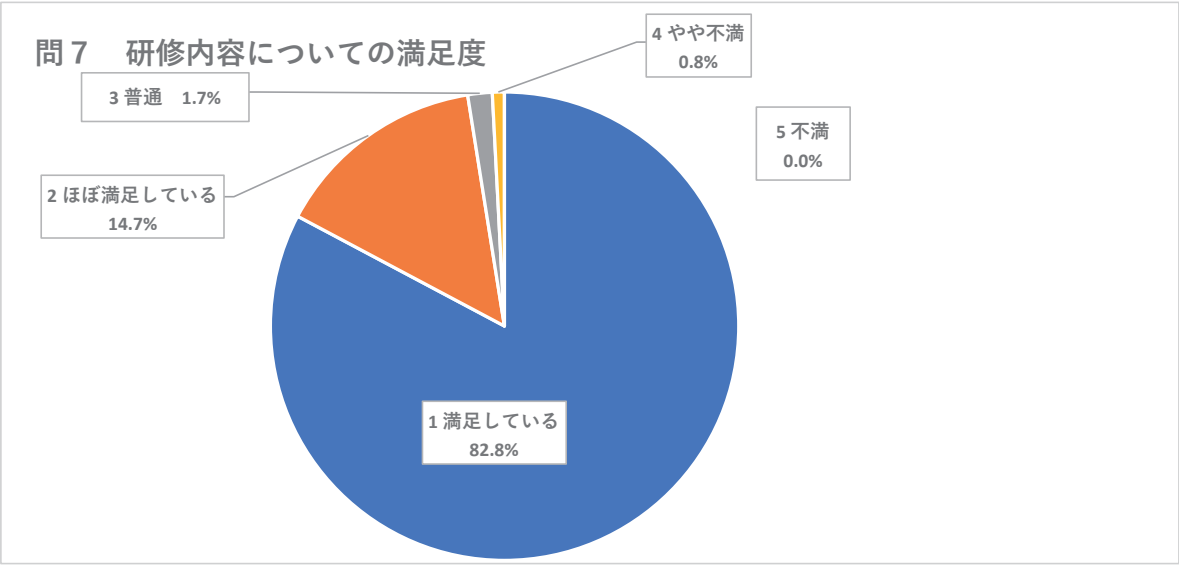
（2，３を選択した）具体的な日数

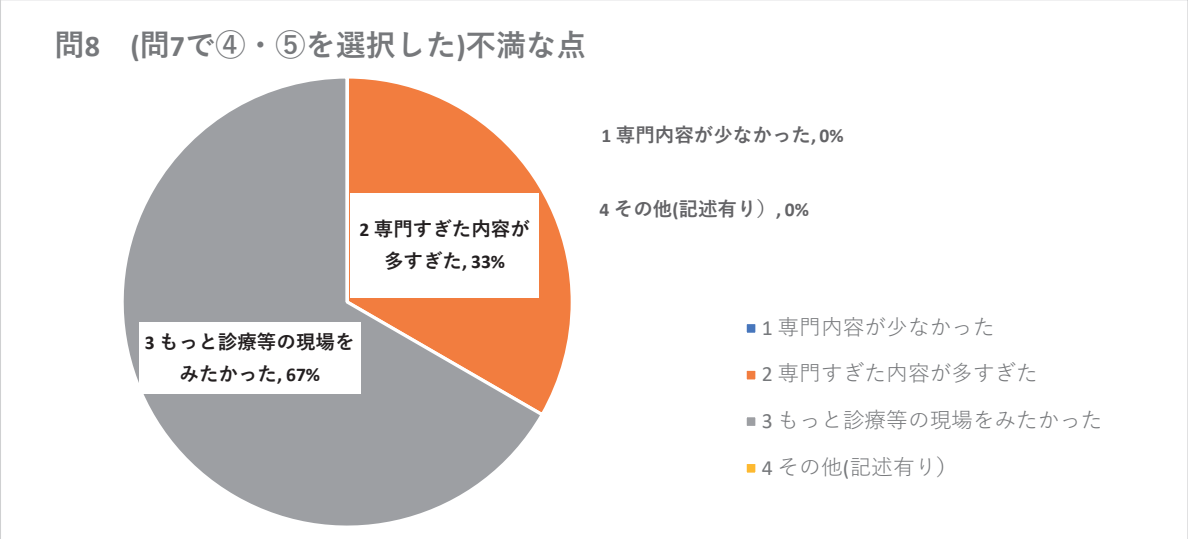
2　もっと長期の方がよかった
・7,8日位　　・１０日間　　・１４日位
3　もっと短期の方がよかった
・３日間　　・3,4日

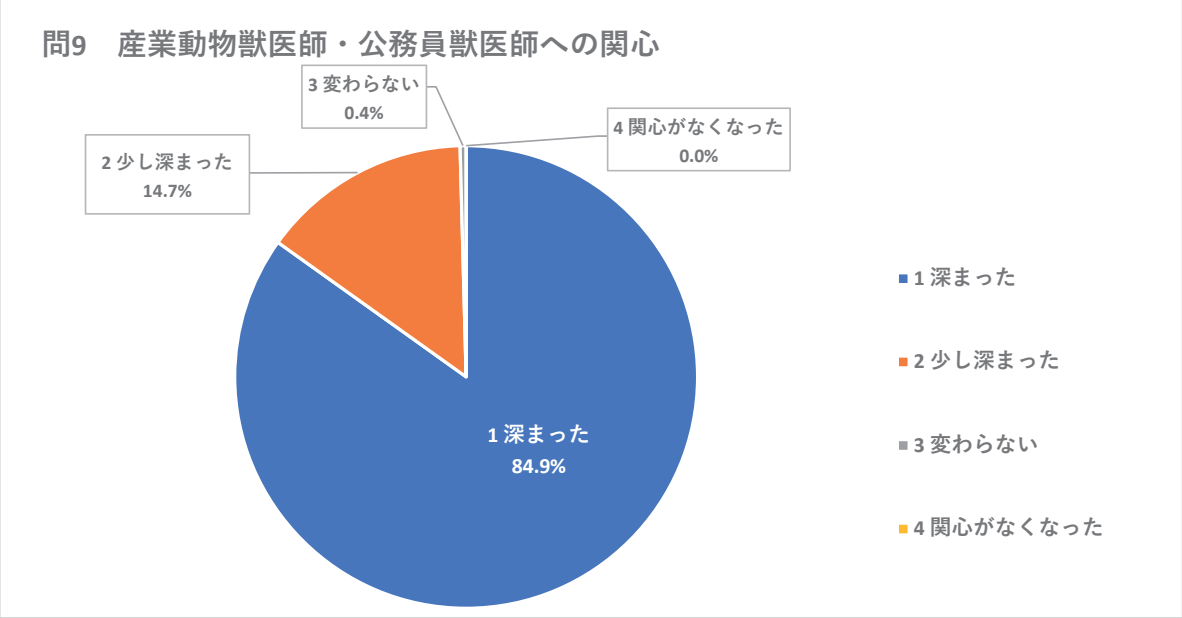
【その他意見】
＊本格的に行政の就職を考えていたら長期でも行ってみたいと思いました（14日位）

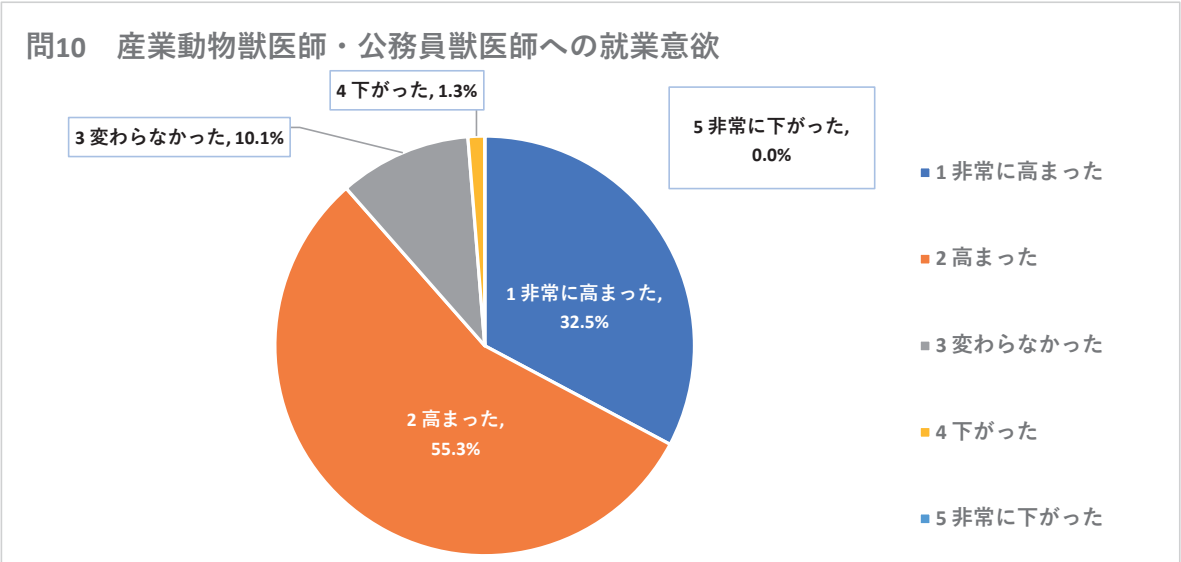

問5　研修内容について(理解度)
4 難しすぎた
0.0%
3 あまり理解できなかった
0.8%
2 理解できた
27.4%
1 よく理解できた
71.7%


問６　研修内容(カリキュラムの組み立て）
1 講義が主体　0.4%
4 職場訪問主体
13.9%
2 講義と実習が半々
25.2%
3 実習が主体
60.5%

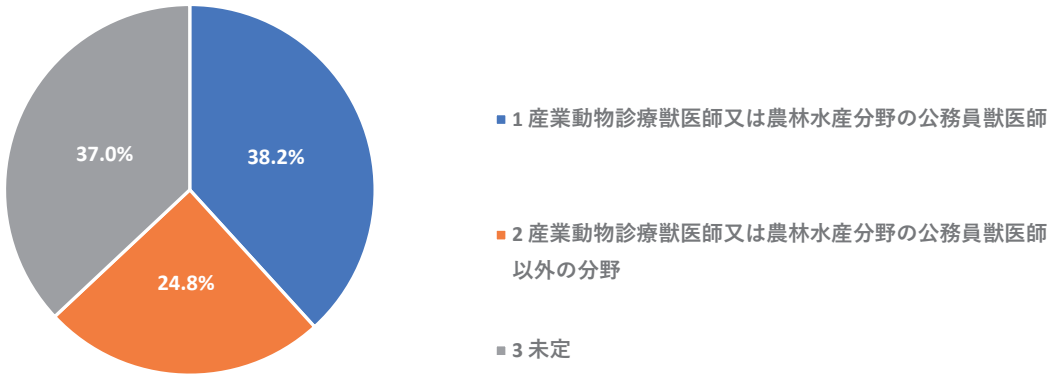

問７　研修内容についての満足度
4 やや不満
0.8%
3 普通　1.7%
5 不満
0.0%
2 ほぼ満足している
14.7%
1 満足している
82.8%


問8　(問7で④・⑤を選択した)不満な点
1 専門内容が少なかった, 0%
4 その他(記述有り）, 0%
2 専門すぎた内容が多すぎた, 33%
3 もっと診療等の現場をみたかった, 67%
1 専門内容が少なかった
2 専門すぎた内容が多すぎた
3 もっと診療等の現場をみたかった
4 その他(記述有り）

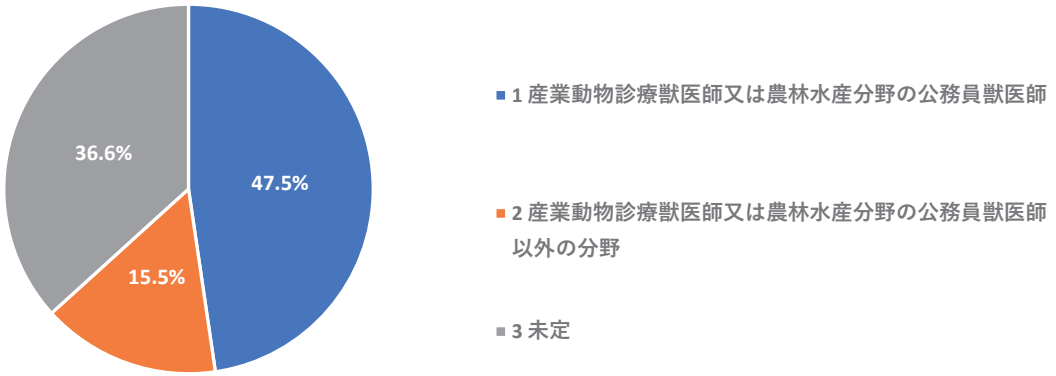

問9　産業動物獣医師・公務員獣医師への関心
3 変わらない
0.4%
4 関心がなくなった
0.0%
2 少し深まった
14.7%
1 深まった
84.9%
1 深まった
2 少し深まった
3 変わらない
4 関心がなくなった


問10　産業動物獣医師・公務員獣医師への就業意欲
4 下がった, 1.3%
3 変わらなかった, 10.1%
5 非常に下がった,
0.0%
1 非常に高まった,
32.5%
2 高まった,
55.3%
1 非常に高まった
2 高まった
3 変わらなかった
4 下がった
5 非常に下がった

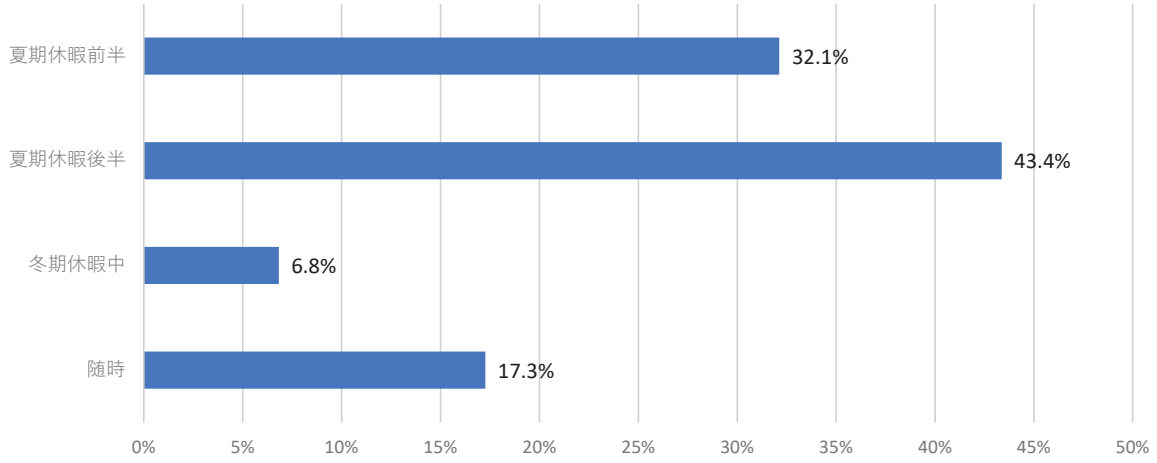
問11-1　就業第一希望の変化の有無【研修前】



問11-2　就業第一希望の変化の有無【研修後】



問12　参加しやすい研修時期　＊複数回答



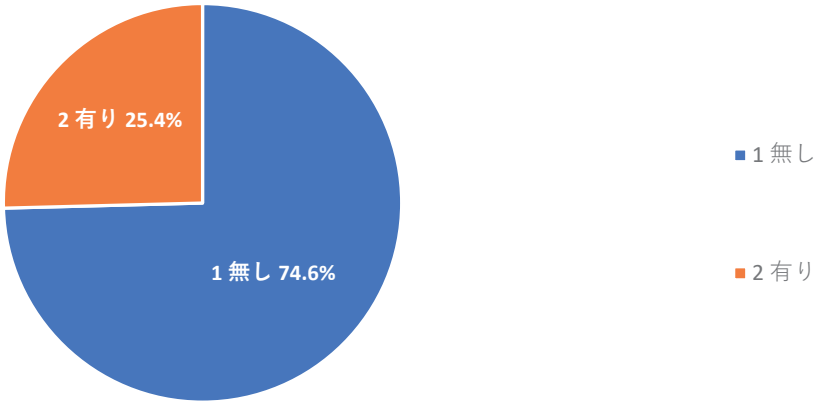
Q13　研修で困った点　（記述）

＊別掲＊

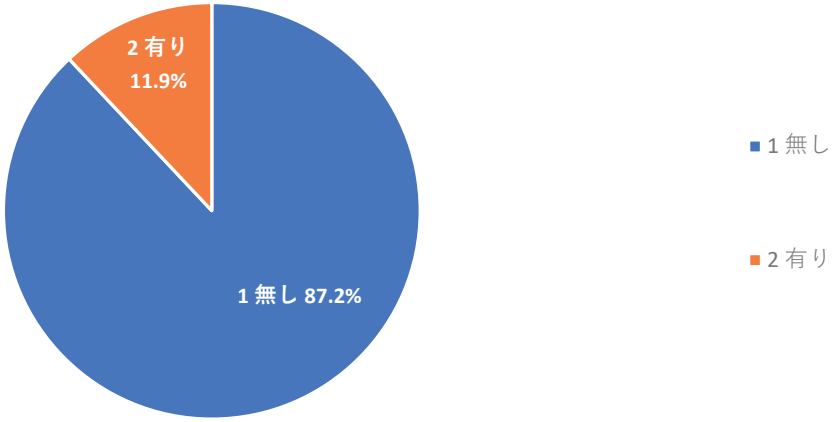
Q14　研修についての意見・感想・体験談・今後へ向けての提言(記述)

＊別掲＊

問15-1　研修の受講経験（産業動物関係）



問15-2　研修の受講経験（小動物関係）



Q13　本研修で困った点(記述)

＊研修先の職員の方には研修前の連絡から非常に丁寧にしていただき、研修中も丁寧に対応していただき、困ったことはなかったです。
＊宿泊先に食事がなく、宿泊先の近くにコンビニやスーパーがなかったため実習先でアテンドしてくださった方にコンビニに寄っていただいたり、ご迷惑をおかけしてしまったので、食事をつけていただけたらありがたかったです。
＊交通費を助成していただきましたが，とっていただいた新幹線の日時が間違っており、1週間という短い時間の中で変更しなければいけないのが大変でした。間違いのないよう確認してほしいです。推奨ホテルが研修場所から２駅離れた場所にあり、毎日移動に時間がかかったのが不便でした。
＊宿泊施設から研修先までのアクセス方法がバスのみで、１時間に１本しか無かった事
＊前泊、後泊の手続きが面倒でした。
＊中央畜産会のページ経由でJTBにホテルの手配をお願いし、ホテルルートイン盛岡駅前を予約したとの手配内容確認書が届いたため、ホテルに予約確認をしたところ予約が確認できないと言われた。その旨をJTBに電話したところ、ルートインで取れているから安心していいと言われた。しかし、前日になってもホテル側での予約確認が取れず、営業時間外で電話は通じなかったためJTBにメールで問い合わせたところ、実はホテルパールシティ盛岡だったと返信が来た。メールの返信はもらえたのでよかったが、研修初日に泊まるホテルがなく混乱するところだった。
＊研修場所までの交通手段があまりないのが少し不便だった。
＊電車でのアクセスが困難であるのに自家用車での通勤禁止は不便極まりなかった。
＊最寄りのホテルから研修先までのバスが少しわかりにくかったです。
＊宿泊費の負担が大きすぎる。
＊助成金の出るホテルが遠かった
＊昼食を用意してくださる日があり、とてもありがたかったのですが、エビアレルギーがある事をお伝えしていたにもかかわらず、お弁当にエビフライが入っており、取り除いていただきました。実習中にアナフィラキシーショックが出たらどうしようと少しひやっと致しました。
＊届いたチケットの乗り換え時間がぎりぎりであり、自分で便を変更したかった。
＊指定された宿泊先と職場の交通の便が不便だった。
＊特にありません。JTB推奨ホテルから研修場所がやや遠いことが不安でしたが、担当者の方が最寄りのバス停やルート地図などを事前に提示してくださり、とても助かりました。

＊前泊、後泊が必須であったため、自己負担でも良いから同じホテルの同じ部屋で手配可能であれば良かった。
＊大学の最寄り駅から実習先の最寄り駅までしか交通費が出ないこと。
＊秋田県中央家畜保健衛生所と指定のホテルは最寄り駅が秋田駅なので新幹線のチケットは泉外旭川ではなく秋田駅まででよかった。
＊最寄駅と推奨ホテルが遠く、交通手段を考えるのが難しかった。
＊実習自体は楽しく、多くのことが学べたのでとてもよかったが、JTB の宿泊や交通機関の情報が分かりにくく、予約ページの開設が遅かったためいつ予約を早めにとってしまいすべて自費という形になってしまったこと。
＊実習前に連絡をしなければいけない連絡先が多く混乱しました。
＊最初に案内されたホテルが少し遠かったですが、相談して変更していただけたので、助かりました。
＊場所が日によって違うため、ホテルからの移動時間がかかって大変な日がありました。実習場所について、応募時にもう少し情報が欲しかったです。
＊色々なサポートをしていただき、しっかりと準備を整えられたためスムーズに受講することができました。
＊研修先決定直後に研修先へ差し上げたご連絡が、なかなか通らなかったこと。研修サイト個人ページでは、長崎県の窓口だけでなく壱岐家保の窓口もご教示いただけましたら幸いです。
＊指定時刻の電車に乗ると集合場所に絶対間に合わないことや、チケットに書かれている駅が研修場所の最寄り駅と異なることなど、JTB のチケットが使いづらかった。また、研修の集合場所が多少不明確で、記載された建物のロビーで待っていても職員の方がいらっしゃらず、問い合わせた所その建物５階に集合しなくてはいけなかったなどの事態があった。（＊愛知）
＊往復の切符が届くのが出発３日前で，本当に届くのか不安になった。
＊福島県中央家畜保健衛生所に今回参加したのですが、宿泊地域が“須賀川市”では交通面で不便であったため、今後は宿泊地域を“郡山市”に変更してほしいです。中央家畜保健衛生所側も“郡山市”を最寄りの宿泊地域として欲しいとのことです。＊家保側の報告書にも同様の要望あり
＊助成費の出る宿泊施設から実習先への交通の便が悪かった。直線距離だと須賀川市の方が近いが、郡山市の方が通いやすい。（＊中央家保）
＊ホテルの周辺に食料を買える店がほぼなかった点。
＊皆様がとっても良くしてくださったのでなかった。
＊前泊後泊の手配をしないといけなかったこと。
＊研修に関する詳しい案内がぎりぎりまで来なかった

＊手配していただいた乗車券が一部使えなかった
＊前泊を取っていただけないのが不便だと感じた。
＊服装の指定がある方がありがたかった。
＊交通手配について、JTB さんに指定されたものだと乗り継ぎなどの時間などでどうしても融通がきかない場面がありました。
＊丁寧に対応していただいたのでなかったです。
＊特になし。強いて言うなら研修に伺う際の服装で少々迷いました(フォーマルにすべきかどうか)
＊実習先が確定するのが遅く、学校への申請書類や単位申請をするのが大変だった。
＊実習先までの指定された飛行機、バスの乗り換えの時間がギリギリだった。もう少し余裕が欲しいです。
＊事業所からのメールの返信がなかなか来ず，自分のメールがとどいたのか不安になった。
＊郊外に立地しているため徒歩やバスで通勤しにくかった。
＊交通費が大学から研修施設までしか負担されないのは、少し困る。
＊特にないですが、報告書の枚数指定が分からず迷いました。あの 1 枚にまとめる形で問題なかったでしょうか。
＊研修先からのメールの返信や連絡が遅かった点。研修内容が研修初日までわからなかった点。
＊指定のホテルが研修先から遠かったこと。
＊少し交通の便が悪かったです。
＊大学の最寄り駅と実習先の最寄り駅間の交通手配だったため、実家からのアクセスに少し手間取りました。
＊台風に伴う交通機関、ホテルの日程変更で、JTB との連絡が上手く取れず、苦労しました。
＊研修場所変更により JTB も混乱していたのか研修先と異なる切符を取られていることがあり、中央畜産会と JTB との間で情報共有が不十分であると感じた。その連絡やホテル予約が少し大変だった。
＊研修と関係ありませんが、飛行機やモノレールの乗り継ぎで、飛行機から降りた後荷物を受け取る時間があったり、バスの予定時刻に遅れかけてしまったので（待っていてくれました)、乗り継ぎの時間をやや多めに取れると、肝を冷やさずに済むと思います。
＊研修期間前日の往路交通費は支給してもらえるが、前泊の補助がないのが納得いかない。前泊分の宿泊費も補助すべき。
＊新幹線のチケットが届くのが直前で少し心配だった。

＊ホテルの予約が前泊の分まで予約していなく、自分で予約した。
＊所属大学の最寄りからは私の家は遠く，さらに空港も私の家からは大学と反対側であったため，無駄となってしまった乗車券がありました。また，宿泊先のホテルが空港からは研修先の大学と真反対に位置していたため，空港から研修先の大学への乗車券も無駄となってしまいました。
＊大隅に宿泊した際にホテル下のコンビニが営業しておらず、朝食の調達に困った。
＊宿泊費用がかかってしまう。
＊ホテルが実習先から遠かった。JTB の送ってきたチケットに無駄な経路が多かった。
＊日程を共済の方と連絡をして決めることが少々煩わしかったくらいです。
＊宿泊費が高かった点
＊お礼状の形式など、先方に失礼がないか不安ではある
＊交通ルートを申請してから実際にわかるまでがもう少し早いほうがありがたかったです。
＊大学から最寄り駅が遠すぎる（徒歩１時間）ので交通ルートの希望を出す際、もう少し柔軟だと嬉しいです。
＊最初に JTB から提示されたホテルが遠かった
＊本研修のサイトよりアンケートと報告書のインストールの仕方がわからなかった。
＊交通手配。一回、間違った時間の間違った場所へのチケットが送られてきた。連絡したらすぐに変えてもらえたが、そもそも事前にホテルの手配等を聞いた際には無断で１週間連絡が返ってこず、再度催促をしたら謝罪なしに返答が返ってきたが、この連絡はすぐに返信が返ってきたので、担当者への不信感がすごかった。全体的に連絡をしても、別の所に聞いてくれとたらい回しにされたり、メールの返信が返ってこなかったり、不快感な点が多くあり改善してほしいと思った。　【NOSAI 兵庫研修者】
＊交通や宿泊の手続きに不安が多かった。一度誤った目的地への交通チケットが送られてきてしまい、それを返送して再度正しいものを再送していただいたが、連絡も繋がりにくく非常に不安だった。【NOSAI 兵庫研修者】
＊宿の確保について
何もする事がない待ち時間が１日 5〜6 時間くらいあったので、何か自習するものを持ってきてくださいとおっしゃっていただけるとありがたいと思った。もう一人の子は、待ち時間が長すぎて途中で帰ってしまった。
＊交通手配をお願いしたが、乗り換え時刻にあまり余裕がなかった。空港には出発の１時間前には着くように手配してもらえると嬉しい。

Q14　本研修についてのご意見、感想、体験談・今後の実施に向けた提言等

（行：行政体験研修　臨：臨床実習研修）

区分		ご意見・感想等
行	山形	仕事が忙しくない時期だったので丁寧に教えてもらえたが、やや内容が薄く感じた。
行	福島	とても有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。
行	兵庫	研修費用の補助が、大変ありがたいです。春季休暇や随時でも実施されれば、より参加しやすいと思います。
行	北海道	研修先の職員の方が非常に研修のカリキュラム作成に力を入れていただ講義，実習が非常に理解しやすいように組み立てられており，学習効果が高いと感じました。また，ほぼ全ての担当課を見学させていただき，満遍なく見学できたことも嬉しかったです。
行	山梨	受入れ先の職員さんが、様々な体験をできるように日程を組んでくださり、とても充実した５日間を過ごすことができました。将来の就職先を検討する上で大変有意義な実習でした。
行	東京	説明会だけでは理解できなかった業務内容をより詳細に体験出来た。
行	東京	コロナの影響で、大学では実施できなかった実習を多く体験することができました。非常に勉強になりました。
行	神奈川	家保職員の方は、臨床や食肉など他分野を経験された方が多いので、就職に関するお話をたくさん聞くことができ、とても参考になりました。
行	愛媛	県立動物園とのつながり（獣医師としての異動や、病鑑への剖検依頼など）が興味深く、参考になりました。
行	秋田	飛行機を使っての移動だった為、飛行機が遅延してその後の電車に乗り遅れてしまいました。電車の切符は時間指定のものではないほうが良いと感じました。
行	岩手	公務員獣医師の仕事は普段なかなか見る機会が無いため、具体的な業務内容の想像がつかなかったが、実習に参加することでどんな職業なのかを知ることが出来た。座学ばかりではなく、農家さんに出向いたり、実験をしたり、体験型の実習が多く楽しかった

行	宮崎	家畜保健所で業務体験をしたが、採血、注射、血液検査、精液検査、細菌検査など自分の想像以上の仕事を体験できた。また、解剖の見学、農場訪問などアクティブな活動も多く、家畜保健所の仕事全般を経験できた。また、座学、特に口蹄疫を体験した先生の話は、衝撃的であり、話が聞けてより防疫に関する関心が高まった。 公務員は事務仕事という固定概念があるのかして公務員獣医師の仕事が具体的にどのようなものか知らない学生が多いと思われる。特に、家畜保健衛生所が、農場を回ったり、検査をたくさんすることを認識していない生徒が多いと思われる。行政体験の応募の際、公務員獣医師の仕事の挿絵、写真付き資料及び具体的にどのようなカリキュラムを行えるか及び、体験者の声などを事前に知れば、より興味を持つ学生が増えると思う。 中央畜産会のホームページに、体験談が載っていたが、アクセスしにくかった。また、大学に配布されるポスターや、参加応募メールでは、実習に参加するメリットがどれだけあるか分かりにくいと感じた。応募メール、ポスターから、体験談、公務員獣医の仕事、カリキュラムなどをまとめたページにアクセスできれば良いと思う。
行	三重	公務員獣医師が多くの業務に携われることに魅力とやりがいを感じることができました。普段は滅多に体験することのできない検査業務や病理解剖、ワクチン接種補助などさせていただき、業務への理解が深まった有意義な５日間でした。
行	広島	交通費などを補助してくださるおかげで、研修に参加しやすいかつ遠い場所にも行くことができるため、新たな県の魅力に気づくことができるともに地方の公務員などの仕事に興味を持つことができる良い機会になった。
行	北海道	非常に充実した研修でした。見学だけでなく、実際に作業を行うことができる場面が多く設けられており、とてもよかったです。また機会があれば参加したいと思います。
行	北海道	とても勉強になることが多く、研修に参加して良かったです。
行	兵庫	実際に各種検査に参加することができ、参考になった。
行	兵庫	実習用に見学の時間を設けていただけたが、普段の業務に付いて行く機会があるほうが嬉しかったです。
行	神奈川	自宅からの通いでも交通費が助成できるようにしてほしい
行	愛媛	研修のためではなく、あくまで実際の現場を見せたい！と職員の方々が一丸となってその日その日にできるベストな実習内容となる様尽力してくださり、とても勉強になりました。
行	鳥取	公務員獣医師の仕事内容については授業ではそんなに深く学ぶことがないので、よい経験になりました。

行	沖縄	色々な補助があったことで研修を円滑に受講でき、現場で学ぶという貴重な体験が出来よかった。
行	愛媛	今回の研修で現場を知れたことにより、今までは興味のなかった公務員獣医師も将来の選択肢として積極的に検討しようと思うことができました。
行	福島	公務員獣医師には正直興味がなく、単位修得のために仕方なく参加したつもりだったのですが、参加してみるとやはり現場でしかわからないことが多く、非常に興味が湧いた。これからも積極的に現場を見に行きたいという意欲が湧き、公務員獣医師も視野に入れたいと感じた。
行	和歌山	経済的な理由から、現在自分が住んでいる周辺での実習しか検討していなかったのですが、中央畜産会さんの研修は交通や宿泊費の手当を頂けるため今回は少し離れた地域での研修に参加することができました。畜産の特色や業務内容が、自分が住んでいる地域のものとは異なっている点が新鮮で、非常に良い経験をさせていただいたと感じました。
行	広島	若手職員の方とお話しし、職場の雰囲気を知ることができたのが良かったです。
行	新潟	交通手配、宿泊手配はもっとわかりやすくしてほしい。
行	滋賀	自分は実家から通っていたのでその分の交通費が出なかったことが辛かったです。
行	新潟	家畜保健衛生所の職員の方々が丁寧に業務内容について教えてくださり、採血や血液塗抹標本作成などの各種手技についてもわかりやすく指導してくださったおかげで、有意義な実習になったと思います。 最初は緊張していたのですが、職員の皆様が優しく、家保の雰囲気もよかったので、楽しく実習に取り組めました。
行	三重	丁寧に案内や説明をしていただけたのでたくさんのことを知ることができた。とても有意義だったと思う。
行	鳥取	全体を通して研修はいろいろとやることが考えられており良かった。
行	三重	研修先の日程上の都合で叶わないのかもしれないが、自身が各家保など研修先に応募する際に、研修の詳しい内容（見学や実習できる施設やその内容）を知ることができなかったので、研修先を選ぶ際にはその情報を知れたらいいと思いました。
行	秋田	少ない自己負担額で行政体験ができる良い研修だと感じた。
行	北海道	大学の講義とは異なり、経験や現場ならではのやりがい、苦労などを多く聞くことができ、知識が深まるとともに将来を検討する良い機会となりました。

行	群馬	同じ県でもいくつかの施設を選ぶ事が出来て良いと思った。
行	東京	コロナ禍で、大学でできなかった実習が今回の行政体験実習でできたのはとてもありがたかったです。
行	新潟	若手の方と座談会があったが、正直その時間よりも実習に行かせてほしかった。理由はあまり会話が盛り上がらず、インターン生も職員の方も少し戸惑ってたからである。また Q13 で述べたような事態であり、一緒に同行したインターン生も JTB の対応に困っていた。できることならば助成金の補助を受けたい。
行	新潟	家保は農家を取り締まり指導する役所というイメージでしたが、家保の方が農家さんと関わる現場を見学し、農家さんに寄り添うことで協力を得ているのだと気付くことができました。
行	福井	実習受け入れ決定時期が少し遅かったので、もう少し早めていただけると混乱しないかなと思いました。また事前に連絡をしなければいけない連絡先の開示をしてくださると連絡がスムーズに進むと思いました。
行	茨城	実際に現場を見て、どのようなことをするのかなどの理解が深まりました。貴重な機会を設けていただきありがとうございました。
行	愛知	公務員獣医師の仕事をより深く理解することができ、進路を考えるうえでとても参考になりました。昨年は中止になってまって参加できかったので仕方ないのですが、もっと早く受講するべきだったと思いました。
行	佐賀	一週間という短い中でいろいろな場所に連れて行ってくださり、より多くの体験をすることができました。しかし、話の中でもまだできることがあるや、もっと教えてあげたいといった話が出ていました。夏休みであればもう少し期間を長くしてもよいのかと思いました。
行	愛知	公務員獣医師の方の実際の職場の様子を拝見できたのがとてもよかったです。防疫演習への参加という貴重な経験もさせていただけて、将来の就職先の検討の参考になっただけではなく普段の家畜防疫を支えている獣医師という仕事のすばらしさも再確認できました。
行	長崎	旅程の手配に業者を挟むことが、非常に不便でした。実習先のことについては先方が最もよくご存じだと思うので、研修先と直接ご連絡を取りながら自身で手配をしたほうがより効率的であるように思います。この度の研修では、非常に貴重なご機会をいただきました。大変お世話になりました。ありがとうございます。
行	香川	様々な体験ができ、また職場の雰囲気も知ることができたため参加して良かった。
行	愛知	研修場所を共有していただくなど、実習先ともう少し連絡を取り合って発券等をしていただきたいです。

行	山形	このような機会を設けて下さり，ありがたく思います。
行	宮崎	公務員獣医師としての業務内容がどのような物かを体験することができ、やりがいのある仕事だなと感じることができたので非常に良い経験になりました。
行	茨城	とても勉強になる実習でした、ありがとうございました。
行	福島	Q13 に記したこと以外では不便はなかったです。できることであれば前泊・後泊分も予約だけは一緒に入れて欲しいです(宿泊費は参加者側で払うので)
行	茨城	家畜保健衛生所の業務を実際に体験することで、どのような業務があるのか、また、その業務の大変さ等を知ることができ、とてもよかったです。
行	福岡	もっと大規模に実施した方が、公務員獣医師になるきっかけを得る学生が多くなりそうである。専門授業に組み込むなど。
行	京都	今まで何となくしかわかっていなかった家畜保健衛生所の業務を実際に体験することができ、他の都道府県は分からないが京都府は感染症の防止に加えて、かなり地域の農業への貢献をしていることが分かり、魅力的だと感じた。
行	東京	現場の雰囲気がとてもよく分かり、研修に参加してとても良かったと思いました。
行	長野	大学での実習では体験したことのないような経験をすることができ、家畜保健衛生所の方々がどのような業務を行っているのか知ることができたので、研修に参加できてよかったと思った。
行	山形	公務員獣医師の勤務体制や具体的な業務を知るだけでなく、地域の魅力を知り獣医学生としての勉強に活かせる知識を多く得ることができた。
行	富山	体験研修という名前ではあるが、研修先の方々に詳しく教えて頂いて、とても勉強になったし、こんなにやりがいのありそうなところで働いてみたいなと感じた。
行	滋賀	行政体験研修については，事前に都道府県の家畜保健衛生所の実習日程を募集の段階であらかじめお伝えして頂けると良かったです。
行	長野	初めて体験することばかりで、とても新鮮だったし楽しかった。様々なことを学ぶことができて、いい経験になった。
行	兵庫	貴重な体験が出来て非常に満足であった。
行	岩手	まだ３年生なので実習中わからないことが多かったですがそれでも質問しやすい環境だったため学ぶことができ，すべてを理解できたわけではないですが興味を持つことができました。
行	愛知	公務員獣医師の実際の現場を経験することができ、非常に良かった。

行	滋賀	思っていたより学生に体験させてもらうことができて勉強になった。ただ、触診などの実習であまり説明されないまま体験したので、まだ習っていない人はあまり動けていなかった。
行	千葉	実際に採血やワクチン接種、細菌検査やウイルス分離をできて楽しかったです。
行	京都	５日間で幅広い様々な経験をさせて頂き、家畜保健衛生所における公務員獣医師の役割を一定程度学ぶことができた。また、職員さんともお話しできる機会が多く、様々な考えや知識、価値観に触れることができ、非常に有意義な経験となった。
行	福島	とても貴重な体験をさせていただきました。実習内容はとても興味深いものばかりでした。新幹線や電車の切符がいつ届くのか具体的にわからなかったので，送付完了のメールや郵便の種類を教えていただけたら嬉しかったなと思いました。
行	宮崎	非常に充実した実習だった。
行	京都	非常に有意義なものだったため研修の手助けはぜひ継続していただきたい。
行	沖縄	大変有意義な研修でした。様々な経験をさせていただけて良かったです。
行	宮崎	研修前までは非常に不安でしたが、職場の皆様が優しく歓迎してくださり、大変充実した 5 日間を過ごすことができました。服装についての説明が、動きやすい服装との記載があったが、多少はフォーマルな服装（襟付きなど）が必要だったため事前に告知をしていただけたらありがたいです。
行	岐阜	5 日の実習だと、タイミング次第ではありますが実習を受け入れていただいた方も受けた方も長く感じてしまいました。より短期間の実習プランや、家畜保健衛生所だけでなく他の公務員関係の県施設などが見られるプランがあればいいなと思いました。
行	神奈川	就業内容を知るとても素晴らしいプログラムでした。申し込みページが少しわかりづらい点、マイページからこれらの書類にアクセスできると便利だと感じました。
行	愛媛	自己負担額の内訳を明らかにしていただけると良かったです。
行	千葉	とても有意義で貴重な体験をさせていただきました。個人的な意見ですが、本実習を通して将来は公務員獣医師として働いてみたいと強く考えるようになりましたので、このような実習は進路に迷う学生に興味を持ってもらう良いきっかけになると思います。
行	佐賀	今回、家畜保健衛生所での公務員獣医師の業務を体験してみて、以前よりも増して公務員獣医師への関心が高まった。話を聞くだけではイメージしにく

		い部分もあったので、実際に経験できて大変勉強になった。
行	岡山	感想などは報告書にて記させていただきます。とても満足いく実習でしたので提言などはございません。
行	滋賀	公務員獣医師としての働き方，また研修を行った県の特色がよく知れて良かった。今回の研修は５日間だったが，短すぎず丁度よかったと感じた。
行	東京	実習が多く、現場との作業を多く学ぶことができ非常に満足しています。
行	埼玉	公務員獣医師の実際の業務を体験出来良い経験になりました。
行	兵庫	内容としては、とても充実した体験ができ、実際の公務員獣医師の働き方に対する理解が深まった。一方実習先の確定や新幹線のチケットの送付をもう少し早くしてほしいと思った。
行	長野	本来，3 年生の夏季休暇中に参加する予定でしたが，昨年はコロナの影響で研修が実施できなくなったため今年参加した。昨年時点での自分の知識では実習内容が殆ど理解できないまま業務を見学したりすることになったと思うので結果的に４年の今，参加できて良かったと感じた。
行	北海道	現場の方に温かく迎えていただき、貴重な体験をさせて頂きました。ありがとうございました
行	長崎	今まで考えていたアニマルウェルフェアの理想が今回の実習で根幹が覆されたように感じた。現場と座学に大きな隔たりがあるようにかんじた。また，農家さんとの会話や職員さんへの質問会話を通して自身のやりたいことや今後第一次産業にどう関わっていくかを考えるよいきっかけとなった。 今回私のいった研修先には他大学のかたもいらっしゃりいい交流の場となった。獣医師の世界は，狭いためこういった交流は大切に感じた。 友人と内容について話あったところ実習先での内容に大きく異なるところがあったので，研修先の内容について募集の段階から分かっていると実習生はより興味のあるところを選びやすくなるのではないかと思った。
行	茨城	交通手段が決まるのがすこし遅かった。可能ならば交通費助成は券の送付ではなく現金支給に(ある程度手段を選べるように)してほしかった。前々日入や後々日出もできるようにして、就職先の検討として近隣を自由に見て回れたらよいと思う。
行	兵庫	一週間同じ施設にいると、様々な仕事の全体像が少し見やすく丁度よかったです。職員の方々も優しく沢山お話を聞けました。しいていうなら、同じ研修先に複数人の研修者がいると少し安心できます。
行	宮崎	公務員獣医師について現場を見て学べたことで、大学の講義では得られない学びがありました。将来を考える視野を広げられ、とても有意義でした。

行	岡山	日程の都合でいちばん行きたかった家保にいけなかったので、１つの家保につき複数の日程から選択できるようにしてほしい。
行	大分	実際に公務員獣医師の仕事を体験することができ、将来の就職の参考になり、大変有意義な体験になりました。
行	埼玉	申し込みから交通の手配までスムーズにできた点が良かった。
行	兵庫	色々な農場や農学校に連れて行っていただき、実際に現場でどのように働いているのか、農家の方との接し方など色々な様子を知ることができました。施設の中の仕事だけでなく、外回りの仕事を実際に見ることができてとても充実した実習になりました。
行	埼玉	あまり馴染みのない公務員の業務を体験できて、業務内容や何が求められているのかを知ることができたので、就職や勉強に向けてとても参考になった。
行	山口	実際に公務員獣医師の方々のお話を伺える、大変貴重な体験をすることができた。
行	奈良	実習に行く前は、不安もありましたが職員の方々がみなさんやさしくご指導してくださり、非常に有意義な実習になりました。
行	福島	ホテルは研修先からアクセスのよい場所を選べるようにしていただきたいです。
行	愛知	５日間、様々な施設を見学・実習させて頂き、楽しく充実した内容でした。公務員獣医師の業務について深く知ることができ、とても貴重な機会でした。
行	和歌山	交通手配を自宅の最寄りにしていただけるとありがたいです。
行	山梨	説明会で聞くのと実際に職場を訪問し、体験するのではイメージが変わってくるので、参加して良かったです。また他県の研修にも参加したいです。
行	群馬	就職を検討するにあたって、良い機会となった
行	宮城	実際に公務員獣医師として働く現場を見たり、お話を聞いたりすることができて非常に勉強になりました。
行	長崎	実際の現場で何を大事にして公務員獣医師の方が業務にあたっているかを自分の目で見て学ぶことができたのが有意義な時間でした。家畜飼養衛生基準をどのように農家へ指導しているか、これを守ってもらえるようにどのような取り組みをしているのかを学べたのがよかった。各県の畜産の状況によって業務内容も県により違いがあることを学べたので、他の県の実習にも参加してみたいと思った。
行	埼玉	貴重な体験が多くできたので良かった。現場の生の声を聞くことで就職先を考えるにあたり、参考になった。

行	北海道	学年が低いうちから色々な職場を体験させていただけるのが有難いです。目標とする獣医師の方々の働きっぷりを目の当たりにして、日々の勉強のモチベーションも上がりました。ありがとうございました。
行	宮崎	日常業務で忙しい中、資料を作ってくださり、カリキュラムを組んでいただいたことで良い実習期間を過ごせたので感謝します。
行	秋田	宿泊代の助成金の上限額をもう少し上げていただきたかったです。
行	福岡	貴重な機会をご用意してくださりありがとうございました。
行	福岡	期間も丁度よく、内容の濃い実習をすることができた。実習内容がそれぞれの家畜保健衛生所で異なると思うので、前もって具体的にどのような内容を行うのかをアナウンスする制度があれはより良いと感じた。
行	宮崎	初めて家畜保健衛生所の現場に伺い、家保業務の職域を知ることができた他、大学の講義で学んできた知識がどのように応用されるかを認識した。お金の面については、切符やホテルの手配は研修生が行い、費用を一部助成する形がいいと思った。
行	神奈川	指定されたホテルが駅から遠かったため、自分で違うホテルを予約しました。駅から近いホテルにしてもらえると助かります。
行	広島	実際の現場を見ることができ，具体的なイメージを持つことができました。今後の進路決定に役立てたいと思っています。
行	沖縄	とても勉強になった。ただ、飛行機の搭乗時間までもう少し余裕があればよかった(新幹線との乗り継ぎ)。
行	山口	実際の業務の様子を見て学ぶことができ、とても勉強になった。また、研修先の方々も優しく、質問にも丁寧に答えてくださったので、とても楽しかった。
行	沖縄	公務員獣医師の業務内容を実際に見ることができいい経験ができました。
行	鹿児島	できれば、同じ日程で参加する学年は近い方が良いかと思いました。はじめからの説明よりも、履修した伝染病や関連法規などの下地があれば、研修内容も深く理解することができると考えます。
行	兵庫	今回の実習では、実際の職務にご同行させていただき、普段はできないような様々な経験をさせていただきました。チームの皆さんでコミュニケーションをとりながら協力しあって一つ一つのお仕事をされているのが印象的でした。また、公務員獣医師としての幅広い職務の内容がある中で、働いていらっしゃる方々が、衛生関係、法律関係、検査の方法等、多くのことを理解し、職務にあたられており、私自身も学生時代にできるだけ多くのことを経験し、将来に少しでも活かしていければと思います。

行	富山	貴重な体験をサポートしていただきありがとうございました
行	佐賀	行政体験ができる貴重な研修に参加させていただきありがとうございました。
行	長野	所内の人たちが優しく、丁寧にたくさんのことを教えて下さったのでとても実りのある研修となりました。
行	長崎	北海道から遠方の実習先へ参加する場合は最終日に帰宅することが困難ですが、それに伴う前泊や後泊する場合の宿泊費が自己負担であったのが少し痛手となりました。しかし旅費を出していただけたことには本当に感謝しています。就職先として気になっていても自分で選んで参加するか悩むような地域にも応募することが出来ました。
行	福岡	獣医師の方が働いている現場を体験できるとても貴重な機会になりました。ありがとうございました。
行	宮崎	実際に公務員獣医師さんの職業を体験することで、就職への意欲がわいた。職員の方たちにもよくしていただいて感謝しています。
行	徳島	地方公務員獣医師の業務内容を見ることが出来、大変満足しております。将来の就職先を決めるにあたりとても役に立つ実習だと思います。
行	岡山	講義だけではなく、様々な検査の体験をできたのがありがたかったです。しかし実習に向けて準備してくださっていたこともあり、日頃どんなことをしているのかが、少しわかりにくかったです。もう少し普段の業務の様子をみてみたかったです。
行	千葉	人数が一人だったため、充実した半面、手厚すぎて気おくれしたところがあった。複数人ならば、集団の中の一人としてより学び取れたように感じる。
行	北海道	家畜保健衛生所で行われている業務の内容は、大学の講義などを通しておおよその内容は知っていたが、今回の実習で実際に自分の手を動かして業務を行ったことで理解が深まり、今まで曖昧だった家畜保健衛生所で働くイメージが鮮明なものになった。
行	熊本	幅広い実習や研修先から選べるというのは貴重な機会で、非常に充実した 5 日間を経験することができました。
行	宮城	研修中の移動で新幹線使うこともあったので、その分の交通費も出していただけるとよかったです。
行	埼玉	コロナの影響で昨年の行政体験が無くなってしまったので、今年は無事に参加することができて嬉しかったです。しかし、やはりまだ見学できる施設が限られており、動物愛護センターなどには見学に行くことが出来なかったので、次回また行政体験に参加したいと考えています。
臨	岩手大（牛）	充実した研修でした

行	愛知	講義、研修ともに非常に充実した内容でした。研修場所にも配慮していただき、農林水産系の公務員獣医師が働く様々な職場で研修を行わせていただきました。講義以外にも実際手を動かす実習を入れていただき、勤務でお忙しいところ貴重な時間を実習に使ってくださりありがとうございました。
行	愛媛	日本全国様々な土地から選択し魅力を感じる土地に行けることで、地域による畜産業、家畜衛生の分野について知るだけではなく、土地柄、地域の人柄にも触れ、就職する際に具体的な選択肢の一つになった。
行	愛知	愛知県の様々な施設をに行き、多くの職員の方と話をする機会があったので就職後のイメージがとてもしやすくなった。
行	岡山	公務員獣医師の業務をまんべんなく体験出来て就職を考える上でとても参考になりました。
臨	NOSAI 兵庫	きっと、多くの学生がこの研修の制度を利用して実習に行くため、事務作業など多忙を極めて大変なのだろうが、事務手続きの不備が多すぎて不快だった。今後は、補助上限金額を定めておいて、学生が勝手に交通手配をして後にレポートを記入したのが確認されたら口座に振り込んだり、振込手数料がかさむようなら PayPay などの電子決済に送金するなど、そちらのほうが面倒が少ないと思った。実習の内容は満足感があっただけに、現地に実際に行くまでが大変で残念だった。
臨	NOSAI 兵庫	実習に参加する前は心配な点があったが、実習内容はとてもよく勉強になった。（下線補足／上記受講生と同研修受講者）
行	福島	非常に貴重な経験となりました。福島県職員の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。
行	山梨	お忙しい中、貴重なお時間を割いていただき、大変、有意義な体験となりました。家畜保健衛生所の業務は、その地域で行われている畜産業によって異なることを知り、可能であれば、来年は異なる地域の家畜保健衛生所の実習を体験し学びを深めたいと思います。
行	鹿児島	研修では、様々な分野の先取り実習のような内容のプログラムを組んでいただき、今後大動物関連の授業が始まるのがとても楽しみになった。２年生こそ、まだ志望職種以外に目を向けられて、時間があるからこそ、この研修には積極的に参加して視野を広げるのが良いと感じた。
行	宮崎	研修先にも寄るとは思うがとても身になる研修だった。現場を見ながら説明を聞き、その場で質問することが出来たのでより理解が深まった。
行	山口	Q4 で書いたように、長期コースなど(補足・14 日間程度の）があると良いなと思いました。（知識不足で既にありましたら申し訳ありません）
臨	酪農学園大（牛）	とても勉強になりました。

臨	酪農学園大（牛）	とても実践的な内容で多くのことを学び感じることができました。
臨	酪農学園大（牛）	手を動かす機会が多く、非常に勉強になった。
行	愛知	５日間でいろいろな職場を見ることができて良かったです。
臨	酪農学園大（牛）	少人数での実習は、常に手を動かして学べてとても理解が深まった。
行	茨城	研修先の方々にとても良くしていただき、様々なお話を聞かせて頂けたのが良かった。
臨	麻布大学（豚）	麻布大学の豚実習に参加しました。参加者に対して指導に当たって下さる先生方の方が多い、とても贅沢な実習でした。
臨	麻布大学（豚）	私は特に産業動物獣医師への理解があるわけでも特に知識があるわけでもなかったが、それでも実習にきちんと参加でき、内容を理解できたのは、参加した学生が少人数で、それに加えて先生方が一人一人に真摯に向き合ってくださったからである。本当に感謝しているし、同時に参加した学生ともよい関係を築けたと思う。
臨	麻布大学（豚）	在学大学では体験できない講義・実習を実施していただき、とても勉強になりました。

受講者の就業状況調査結果について

産業動物臨床実習・行政体験研修受講者の就業状況調査結果

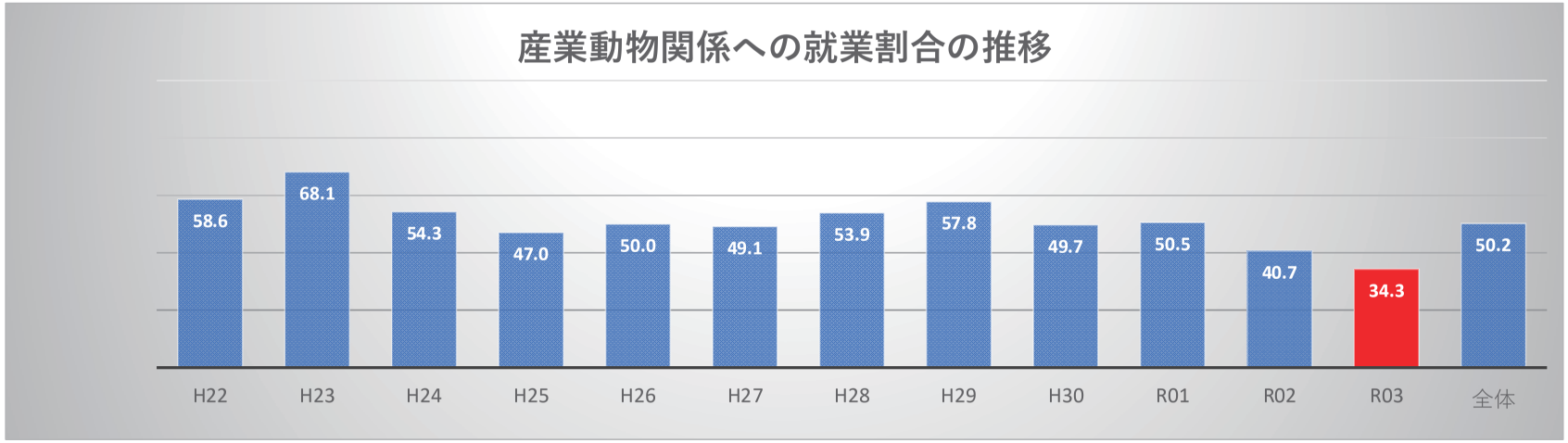
（令和4年3月卒業者について）

令和4年3月に卒業した、平成30年度～令和2年度に臨床実習研修を受講した140名(8名の重複受講者は除く）について、令和4年9月、大学関係者を通じ、その就業状況を調査した結果は、次のとおりです。

就業先等	員　数				内　　訳
	計	H30 受講	R01 受講	R02 受講	
産業動物関係	48名 (34.3%)	12	21	15	農水省等（2)、都道府県（19) NOSAI（14）、農業協同組合（1) 畜産関係会社（5）、馬関係（6) 産業動物病院（1)
小動物関係	53名 (37.9%)	23	20	10	小動物病院（53)
その他	39名 (27.8%)	19	15	5	製薬会社（7）、動物園（1) 検査･分析･研究機関（2) 国立大学法人（1）、大学院（3) 国試不合格（6）、留年（6) その他（未就職等）（13)
計	140名 (100.0%)	54	56	30	(8名の重複者を除く)

【参考】

臨床実習等支援事業（臨床実習・行政体験研修）受講者の就業状況

平成22年度から令和3年度（各年度3月）に卒業した学生のうち、在学中に臨床実習・行政体験研修を受講した学生の就業状況の推移。

年度 / 就業先等	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	全体
産業動物関係	34	62	88	95	132	114	97	126	95	95	83	48	1,069
(%)	*58.6*	*68.1*	*54.3*	*47.0*	*50.0*	*49.1*	*53.9*	*57.8*	*49.7*	*50.5*	*40.7*	*34.3*	*50.2*
小動物関係等	14	18	42	59	67	57	37	63	47	47	70	53	574
(%)	*24.1*	*19.8*	*25.9*	*29.2*	*25.4*	*24.6*	*20.6*	*28.9*	*24.6*	*25.0*	*34.3*	*37.9*	*26.9*
そ の 他	10	11	32	48	65	61	46	29	49	46	51	39	487
(%)	*17.2*	*12.1*	*19.8*	*23.8*	*24.6*	*26.3*	*25.6*	*13.3*	*25.7*	*24.5*	*25.0*	*27.8*	*22.9*
計	58	91	162	202	264	232	180	218	191	188	204	140	2,130
(%)	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
当該年度の受講者数	196	206	208	217	200	220	220	219	244	221	122	66	2,339